

家庭用

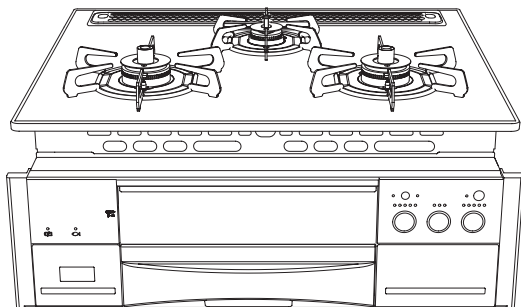
Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

ガスビルトインコンロ 取扱説明書 保証書付

型番

110-H590型

110-H591型



このたびは、大阪ガスのガスビルトインコンロをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

- この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
- この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
- 来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
- この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
- この機器は国内専用です。海外では使用できません。
- 本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

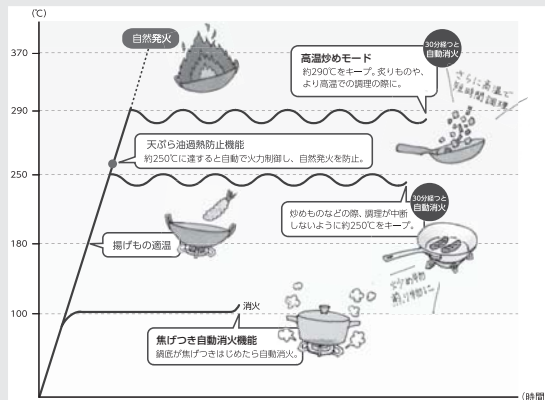
Siセンサーコンロについて

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

安心(Safety)・便利(Support)・笑顔(Smile)を約束する、
賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

- ・ 万一の消し忘れ・・・ ◎未然に防止します！
- ・ 天ぷら油の過熱・・・ ◎自動的に弱火になります！
- ・ なべ底が高温になっても・・・ ◎初期段階で自動消火します！
- ・ 煮ものなどで焦げつき・・・ ◎初期段階で自動消火します！

●温度センサーのはたらき



* 高温炒めモードとは

- ・通常時より高い温度まで調理できる機能です。
高温炒めモードを使用しても、異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
※高温炒めモードを使用すると、天板が油過熱防止機能、集げつき自動消火機能は作動しません。

とくに多いご質問です

- ・電源が入らない
- ・点火／消火ボタン(キー)を押しても、点火しない
- ・電池交換サインが点滅している

乾電池が消耗しているためです。
乾電池を交換してください。

乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)
めやすは約1年です。



- ・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいっている
ためです。

自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。



- ・高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいっている
ためです。

温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。

また、約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。



もくじ

各部のなまえ	3	
かんたん操作ガイド	5	

安全なご利用のために

必ずお守りください(安全上の注意)・・・ 7

周囲の防火措置(機器の設置)・・・ 19

安心・安全機能・・・ 20

乾電池の入れかた・・・ 21

毎日の使いかた

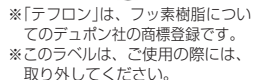
コンロを使う準備	23
コンロの使いかた(基本操作)	25
タイマーモード(全コンロ)	27
揚げものモード(左右コンロ)	29
湯わかしモード(左右コンロ)	31
炊飯モード(後コンロ)	33
高温炒めモード(左右コンロ)	37
グリルを使う準備	39
グリルの使いかた(マニュアルグリル)	41
グリルの使いかた(オートグリル)	43
レンジフードファン連動機能の使いかた	47
カスタマイズ機能	49

長くご利用いただくために

お手入れ	50	
よくあるご質問	57	
ブザー報知・お知らせ表示	63	
仕様・アフターサービス	65	
交換部品	66	
別売部品	67	
保証書		裏表紙

※操作部に保護シートが貼ってある場合があります。ご使用の際には、取り外してください。
※イラストは、チャオコンロが右タイプで説明しています。

テフロンプラチナ加工



トッププレート (テフロン(フッ素コート))

サイドカバー
サイドモール

■ グリル排気口カバー

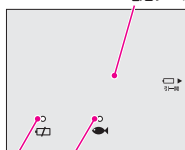
- 電源ボタン
- サイドモール

- グリルスライド枠
- グリル焼網(フッ素コート加工)
- グリル受け皿(クリアコート加工)
- グリルとびらガラス
- グリルとびら(グリルとびら取っ手)

電池収納部

※左パネル上面が電池ケースのふた
になっています。

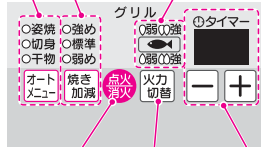
電池ケースふた



グリル燃焼ランプ
電池交換サイン

グリル操作部(シート)

オートグリル用 オートグリル用 グリル用
オートメニューキー 焼き加減キー 火力表示ランプ



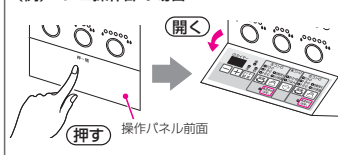
グリル用
点火／消火キー

グリル用
火力切替キー

グリル用
タイマー設定部

操作部の開けかた

(例)コンロ操作部の場合

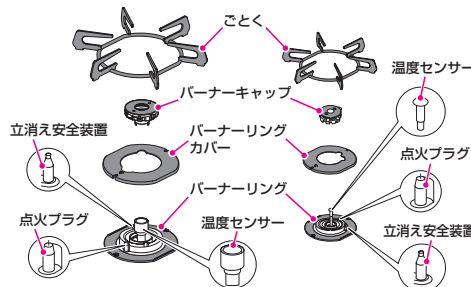


コンロ調理部

※取り付け方法については、『お手入れ』(51ページ)を参照してください。

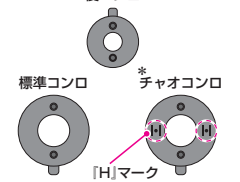
標準・チャオコンロ

後コンロ



バーナーキャップの形状

後コンロ



*チャオコンロの『H』マークは、
ガス種により1カ所になります。

コンロ操作部(パネル)

Diagram illustrating the control panel for the 2000cc engine model, showing various buttons and lamps with their functions:

- ロック機能ボタン / コンロ微調節ボタン (Lock Function Button / Stove Fine Adjustment Button)
- ロック機能ランプ (Lock Function Lamp)
- 電源ランプ (Power Lamp)
- 電源ボタン (Power Button)
- コンロ微調節ランプ (Stove Fine Adjustment Lamp)
- 左コンロ用 点火表示ランプ (Left Stove Ignition Indicator Lamp)
- 右コンロ用 点火表示ランプ (Right Stove Ignition Indicator Lamp)
- 左コンロ用 点火 / 消火ボタン (Left Stove Ignition / Extinguish Button)
- 右コンロ用 点火 / 消火ボタン (Right Stove Ignition / Extinguish Button)
- 後コンロ用 点火表示ランプ (Rear Stove Ignition Indicator Lamp)
- 後コンロ用 点火 / 消火ボタン (Rear Stove Ignition / Extinguish Button)

コンロ操作部(シート)



コンロ用 タイマー設定部	左コンロ用 揚げものキー 湯わかしキー 高温炒めキー	後コンロ用 炊飯キー	右コンロ用 揚げものキー 湯わかしキー 高温炒めキー
タイマー設定部	揚げものキー 湯わかしキー 高温炒めキー	炊飯キー	揚げものキー 湯わかしキー 高温炒めキー

お知らせ

電源について






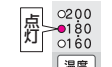


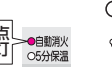





・電源ボタンを押すことにより、機器の電源を入れたり切ったりすることができます。
アルカリ乾電池(単1形:2本)を使用しています。

電源オートパワーオフ機能

・コンロやグリルを使用していないときは、約3分後に電源が自動的に切れます。

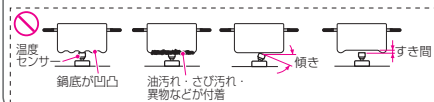
※電源オートパワーオフ機能の設定時間は変更
することができます。(49ページ)

かんたん操作ガイド

電源を入れる  電源切/ス 「ビッ」と音がするまで押す (約0.3秒) 「ビッ」	操作部を開ける (例)コンロ操作部の場合  開く 押す 操作パネル前面
コンロ操作部 タイマーで煮る、ゆでる (全コンロ) コンロを使う準備 ②③ ④⑤⑥⑦	1 点火する ▶ 2 火力調節する ▶ 3 タイマーを設定する ▶ 4 点火/消火ボタンを戻す  弱く 強く 炎があふれない程度に調節する  ④タイマー 分 秒 終了30秒前 秒 自動消火 点滅 「ビー」
コンロ操作部 揚げる、焼く (左右コンロ) コンロを使う準備 ②③ ④⑤⑥⑦	1 点火する ▶ 2 火力調節する ▶ 3 温度を設定する ▶ 4 調理が終了したら、消火する  弱く 強く 火力は中火以上で、炎があふれない程度に調節する  点灯 温度 調理開始  「ビビビッ」
コンロ操作部 お湯をわかす (左右コンロ) コンロを使う準備 ②③ ④⑤⑥⑦	1 点火する ▶ 2 火力調節する ▶ 3 湯わかしを設定する ▶ 4 点火/消火ボタンを戻す  弱く 強く 火力は中火以上で、炎があふれない程度に調節する  点灯 自動消火 5分保温 ふつとうしたら、自動消火 消火 自動消火 5分保温 5分保温でもできます(31ページ) 「ビー」
コンロ操作部 ごはんを炊く (後コンロ) コンロを使う準備 ②③ ④⑤⑥⑦ (下準備 ⑧⑨)	1 点火する ▶ 2 炊飯を設定する ▶ 3 点火/消火ボタンを戻す  点灯 おかゆ ごはん 自動消火後、むらし開始 終了2分前 点滅 おかゆ ごはん 自動消火後、むらし終了 消火 おかゆ ごはん 「ビー」
コンロ操作部 あぶる、炒める (左右コンロ) コンロを使う準備 ②③ ④⑤⑥⑦	1 点火する ▶ 2 火力調節する ▶ 3 高温炒めを設定する ▶ 4 調理が終了したら、消火する  弱く 強く  点灯 高温炒め 3分保温 調理開始  「MMMM」
グリル操作部 オートグリルで魚を焼く グリルを使う準備 ②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾㊿	1 魚に合わせメニュー設定 ▶ 2 焼き加減を設定する ▶ 3 点火する  点灯 焼め 標準 弱め 焼き 加減 点灯 点滅 残り時間を表示 ④タイマー 分 秒 終了30秒前 秒 自動消火 点滅 「ビー」

警告

- 禁止**
- 温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない
 - 温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できません。
 - 天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油の量に関係なく調理油が**発火し、火災の原因になります。**
 - 焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。



テフロン(フッ素コート)トッププレートを長くお使いいただくためのご注意

ご使用の際の注意

- トッププレート上で、硬いものを落下させたり、鋭利なものでこすったりしないでください。
- トッププレートに急激な衝撃を与えたり、鍋などをごとくに強く押し付けた状態で、動かさないでください。

トッププレートがへこんだり、変形、フッ素コートのキズ、はく離の原因になります。

お手入れの際の注意

- お手入れには、金属たわし、中性洗剤以外の洗剤(漂白剤、食器洗い乾燥機用の洗剤など)、クレンザーは使用しないでください。
- トッププレートについた煮こぼれや油污は、その都度、お手入れしてください。
- トッププレートに、酢などの酸性のものや、重曹などのアルカリ性のものが付着した場合は、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
- フッ素コートのキズ、変色、シミ、はく離、トッププレートの腐食の原因になります。

※ごとく・バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがありますが、ご使用上問題ありません。

必ずお守りください (安全上の注意) ①

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害・損害の程度による内容の区分

危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

■注意・禁止内容の絵表示

 必ず守る	 換気する	 禁止	 火気禁止
 分解禁止	 接触禁止		

危険 ガス漏れの際には

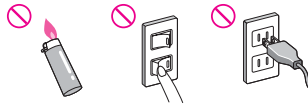
ガス漏れ時は、絶対に



火気禁止

- ・火をつけない
- ・電気器具(換気扇など)のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺で電話をしない

火や火花で引火し、**火災の原因になります。**

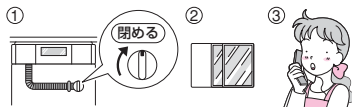


ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめる



必ず守る

- ① 火を消し、ガス栓を閉める。
- ② 窓や戸を開け、ガスを外に出す。
- ③ お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。



警告 使用するガスについて

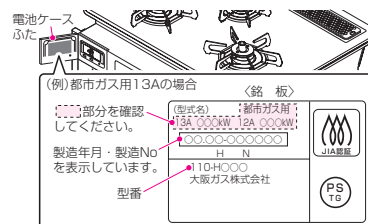


必ず守る

- ・銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する
- ・転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する

表示以外のガスで使用すると、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、機器が故障する原因になります。**

供給ガスがわからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。(電池ケースふたの開けかたは、21ページを参照してください。)



警告 火災予防のために

機器を設置の際は



必ず守る

- ・機器の設置(取り付け、取り外し)・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガスに依頼する
ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です。



必ず守る

- ・可燃性の部分から十分離して設置する
当該地区の市・町・村の条例で定められています。必ず守ってください。
- ・距離を確保できない場合は、別売の防熱板を取り付ける
防熱板を取り付けなかった場合、**火災の原因になります。**
※離隔距離については19ページを参照してください。
防熱板の購入は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。



必ず守る

- ・機器周囲の改裝(吊り戸棚を付けるなど)については、お買い上げの販売店に相談する
ご自分で改裝されると、設置基準上問題がある場合があり、**火災の原因になります。**

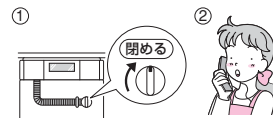
機器をご使用の際は



必ず守る

- ・使用中に異常燃焼、異常音、臭気などを感じたときや、地震、火災などの緊急の場合は、すぐに使用をやめる

- ① 火を消し、ガス栓を閉める。
- ② お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。
火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。



必ず守る

- ・使用後は消火を確認する
火災や思わぬ事故の原因になります。
※就寝や外出時は、ガス栓も閉めてください。

必ずお守りください (安全上の注意) ②



禁止

- ・火をつけたまま離れない
- ・火をつけたまま就寝や外出をしない

調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、**火災の原因になります。**

※とくに天ぷらや揚げもの調理、グリルを使用しているときは注意してください。

電話や来客の場合は、一旦火を消してください。



禁止

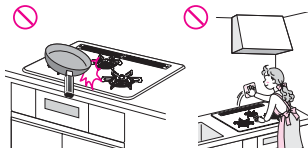
- ・引火のおそれのあるもの(スプレー、ガソリン、ベンジンなど)は機器の近くで使用しない
- 火災の原因になります。**



禁止

- ・トッププレートに衝撃や荷重を加えない
- ・上にのらない

トッププレートの変形やキズ、破損につながります。また、異常過熱や火災の原因になります。

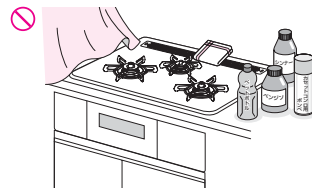


禁止

- ・燃えやすいものや引火のおそれのあるものを機器の近くに置かない

- ・燃えやすいもの
ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど
- ・引火のおそれのあるもの
スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど

火災の原因や、熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー缶が爆発する原因になります。



コンロ部をご使用の際は



禁止

- ・高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
- 天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が**発火し、火災の原因になります。**



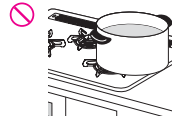
禁止

- ・耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理しない
- 天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油が**発火し、火災の原因になります。**



禁止

- ・鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない
- 火災や機器焼損の原因になります。**

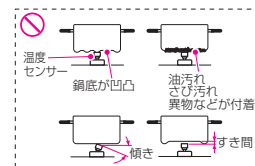


禁止

- ・温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない

- 温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できません。
- ・天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油の量に関係なく調理油が**発火し、火災の原因になります。**

- ・焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。



禁止

- ・アルミは製する受け、省エネごとくなどの補助具は使わない
- 一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱により、塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。**



禁止

- ・コンロをおおうような、大きな鉄板や銅は使わない
- トッププレートの変色や変形および火災や不完全燃焼の原因になります。**



禁止

- ・焼網は使用しない
- トッププレートに落ちた油などが**発火したり、機器の異常過熱により塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。また、トッププレートの変色や変形の原因になります。**



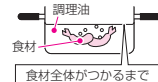
揚げもの調理の際は



必ず守る

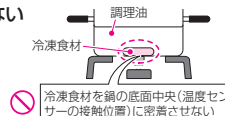
- ・揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油(必ず200mL以上)を入れて行う
- 調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、**発火するおそれがあります。**

- とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、**発火するおそれがあります。**



禁止

- ・冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない
- 鍋の底面中央(温度センサーの接触位置)に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、**発火するおそれがあります。**食材は中央部を避けて置いてください。



禁止

- ・複数回使った調理油で揚げものをしない
- 何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。**発火が起こりやすくなる場合があります。**



禁止

- ・揚げすぎない
- 豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、**発火や、やけどのおそれがあります。**

必ずお守りください (安全上の注意) ③

グリル部をご使用の際は



禁止

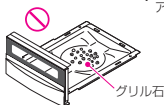
- ・脂が多く出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない
アルミはくの上にたまった脂が**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**

※鶏肉や脂ののったさんまなどは、脂が多く出ます。



禁止

- ・グリル受け皿にグリル石やグリルシートなどを入れない
たまった脂が**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**



必ず守る

- ・グリル使用前はグリル庫内を点検する
グリル庫内に食品くず、脂くず、布などがあると、使用中に**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**



必ず守る

- ・グリル使用後および連続使用するときは、グリル受け皿やサイドカバーにたまった脂、グリル焼網についた食材は、ご使用の都度取り除く
たまった脂などが**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**



禁止

- ・グリル排気口の上に、ふきんやタオルなどをのせたり、ふさがない
グリル排気口の周りには、ものを置かない
火災や不完全燃焼の原因になります。

点検・お手入れの際は



分解禁止

- ・絶対に改造・分解は行わない
改造・分解をすると、**一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。**
また、**火災の原因になります。**

注意 火災予防のために

機器をご使用の際は



必ず守る

- ・使用するバーナーの点火／消火ボタンを確認して操作する
間違えて操作すると、別のバーナーが点火して、**火災や思わぬ事故の原因になります。**



必ず守る

- ・点火したときは、バーナーが着火したことを確認する
着火していないと、漏れたガスに引火し、**火災や一酸化炭素中毒、思わぬ事故の原因になります。**



禁止

- ・調理以外の用途には使用しない
練炭の火起こしや衣類(ふきんなど)の乾燥などに使用しないでください。**過熱・異常燃焼による機器焼損や、衣類などが落下して火災の原因になります。**



グリル部をご使用の際は



必ず守る

- ・魚などの焼きすぎに注意する
魚などが燃え、グリル排気口から炎が出ることもあり、**火災の原因になります。**



必ず守る

- ・異なる調理物(焼き上げの早い調理物、遅い調理物)を、同時に焼くときは注意する
焦げたり、**発火するおそれがあります。**



必ず守る

- ・鶏肉やサンマなどの脂の多い食材を焼くと、飛び散った脂に引火して、瞬間的にグリル排気口から炎が出る場合があるので注意する
やけどや火災などの原因になります。



必ず守る

- ・調理物が発火した場合は、すぐに使用をやめる
① 点火／消火キーを押し、消火する。
② 炎が消えるまでグリルとびらを開けない。
③ 消火後、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡する。
手順に従わなかった場合は、**火災の原因になります。**

注意 ガス事故防止のために

機器を設置の際は



必ず守る

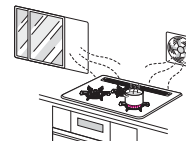
- ・冷暖房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置していないことを確認する
火が途中で消えたり、不完全燃焼の原因になります。

機器をご使用の際は



必ず守る

- ・必ず換気をする
窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。
換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。**
※自然排気式給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流して**一酸化炭素中毒の原因になります。**



お手入れの際は



必ず守る

- ・バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る
水分が残ったまま取り付けると、**点火不良や不完全燃焼の原因になります。**

必ずお守りください (安全上の注意) ④

⚠ 注意 やけどやけがの予防のために

機器をご使用の際は

- ❗ 必ず守る
・点火操作をしても点火しない場合は、点火／消火ボタンを「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する
すぐに点火すると、周囲のガスに引火して衣服が燃えるなど、**やけどの原因になります。**
- ❗ 必ず守る
・コンロ使用中は、コンロの奥へ手を伸ばしたり、身体の一部や衣服が炎に触れないように注意する
やけどや衣服に炎が移ったりするおそれがあります。
- 🚫 接触禁止
・使用中や使用直後は操作部以外は触らない
機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっており、**やけどの原因になります。**
※グリルのみを使用してもグリルバーナーの炎や排気の熱により、トッププレートは熱くなります。
また、ビルトインオープンを設置している場合、コンロやグリルを使用していなくてもオープンを使用すると、トッププレートや排気口カバーが熱くなります。1カ所のみコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。
- 🚫 禁止
・点火操作時や使用中は、バーナーとグリル排気口付近に顔や手などを近づけない
・グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で顔や手などに、**やけどをするおそれがあります。**
※とくにコンロ調理中は、安心・安全機能が作動し、自動的に強火と弱火を切り替える場合があります、炎の大きさの変化によって、**やけどをするおそれがあります。**

コンロ部をご使用の際は

- ❗ 必ず守る
・やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する
火力が強いとはみ出した炎によりやかんや鍋の取っ手などが加熱され、**やけどや取っ手などの焼損の原因になります。**
- 🚫 禁止
・片手鍋や底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない
不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどして**やけどの原因になります。**
・片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をここのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
・中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。
- ❗ 必ず守る
・みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにし、よくかき混ぜる
強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがって**やけどをする原因になります。**(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。)

突沸現象について

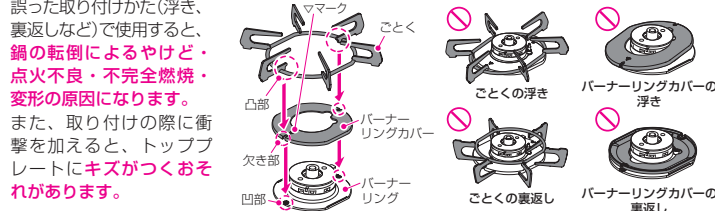
突沸現象とは、突然にふっとする現象です。
水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ(容器をゆする、塩、砂糖などを加える)で生じます。直火でこれらを温めるときにも起きることがあります。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、**やけどやけがをするおそれがあります。**これらの予防法として次の点にご注意ください。
・カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁もの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。(強火で急に加熱しない。)
・熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。
・鍋の大きさにあった火力で加熱する。

グリル部をご使用の際は

- ❗ 必ず守る
・使用直後の魚の出し入れは、グリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網を機器から取り外さずに行う
グリルとびらガラスやグリル焼網などが熱くなっており、**やけどの原因になります。**
- 🚫 禁止
・グリルとびらおよびグリルとびら取っ手に重いものをのせたり強い力を加えない
グリルとびらが外れ、**けがの原因になります。**
- ❗ 必ず守る
・グリル受け皿を持ち運びするときは、冷えてから持ち運び
使用中や使用直後は、グリル受け皿やグリル受け皿にたまった脂が高温になっており、**やけどの原因になります。**また、グリル受け皿にたまった脂などがこぼれないように注意してください。
- 🚫 禁止
・グリルとびらガラスに衝撃を加えたり(グリルとびらの落下も含む)キズをつけたりしない
・使用中や使用直後に水をかけない
グリルとびらガラスが割れて、**やけどやけがの原因になります。**
- 🚫 禁止
・グリル使用中や使用直後は、グリルとびら取っ手以外は触らない
・グリル受け皿を持つときは、ぬれびんなどで持たない
やけどの原因になります。
- 🚫 禁止
・グリル受け皿に水を入れて使用しない
この機器はグリル受け皿に水を入れる必要がないタイプです。水を入れないでください。
グリル機能が正しくはたらかなかったり、調理物が燃えるなどの**原因になります。**また、お湯がこぼれて**やけどの原因にもなります。**
- 🚫 接触禁止
・グリルを使用するときは、グリル排気口に手や顔などを近づけない
・鍋の取っ手などがグリル排気口にかからないようにする
高温の排気が出て、**やけどや鍋の取っ手などの焼損の原因になります。**
- 🚫 禁止
・グリルとびらを開けたままグリルを使用しない
グリルとびらに魚などをはさみこむなど、グリルとびらが開いた状態で使用しないでください。また、ひんぱんに開けたり閉めたりしないでください。
機器上部の変色や、ワークトップを焦がしたり、**やけどのおそれがあります。**

お手入れの際は

- ❗ 必ず守る
・機器が十分冷えてから、手袋をして行う
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。
- 🚫 禁止
・トッププレートは取り外さない
裏面でけがをする原因になります。
- ❗ 必ず守る
・ごとくとバーナーリングカバーは、正しく取り付け(51ページ)



必ずお守りください (安全上の注意) ⑤

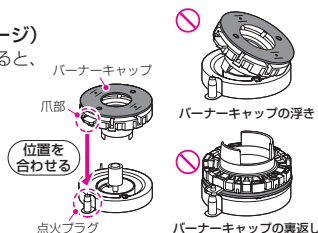
⚠ 注意 機器損傷の予防のために

機器をご使用の際は

- ❌ 禁止
・トッププレートに直接高温の鍋などをのせない
トッププレートの変色や損傷の原因になります。
- ❌ 禁止
・ごとくを外して直接コンロに鍋を置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損の原因になります。
- ❌ 禁止
・グリルとびら、コンロ操作部、グリル操作部、電池収納部などに、重いものをのせたり強い力を加えない
機器損傷の原因になります。
- ❌ 禁止
・石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
異常過熱による機器損傷の原因になります。
- ⚠ 必ず守る
・エアコン、扇風機風の風などがコンロの炎にあたらないように配慮して使用する
風があたると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、火が途中で消えたり機器損傷の原因になります。
- ❌ 禁止
・テフロン(フッ素コート)は、衝撃や高温に弱いので、固いものでぶついたり、鉄板・土鍋などで異常過熱しない
キズ・はく離の原因となります。
また、ごとく・バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがあります。ご使用上問題ありません。

お手入れの際は

- ⚠ 必ず守る
・バーナーキャップは正しく取り付ける(51ページ)
誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、
・点火しない場合があります。
・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
・機器寿命が短くなるおそれがあります。



⚠ 注意 お子さまに対する注意

- ❌ 禁止
・小さなお子さまだけで使用させない
思わぬ事故の原因になります。
お子さまが触れても点火しないよう、ロック機能を設定することができます。(24ページ)

⚠ 注意 温度センサーの正常な動作のために

- ⚠ 必ず守る
・こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、やけどの原因にもなります。密着しない場合、点検・修理を依頼してください。
- ❌ 禁止
・強いショックを加えない
・キズをつけない
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が発火する場合があります。



⚠ 注意 調理プレートについて(別売品)

- ⚠ 必ず守る
・続けて使用するときは、その都度調理プレートにたまった食品くずや脂などを取り除く
たまった脂が燃えて、火災のおそれや機器損傷の原因になります。
- ⚠ 必ず守る
・予熱終了後に食材をのせるときは、調理プレートが高温のため、触れないよう気をつける
やけどの原因になります。
- ❌ 禁止
・調理終了後、調理プレートが高温の状態の水などに入れて急冷しない
調理プレートの変形の原因になります。
- ⚠ 必ず守る
・調理プレートは、グリル使用中および使用直後は高温になるため、取り出すときは必ず付属のホルダーを使用する
やけどの原因になります。
- ⚠ 必ず守る
・予熱終了後などで、グリルとびらを開けるときは必ず一旦消火する
グリル過熱防止センサー(20ページ)がはたらき、消火する場合があります。
- ❌ 禁止
・グリル以外では使用はしない
塗装がはがれたり、破損の原因になります。
- ❌ 禁止
・油もの料理や、焼き魚に調理プレートは使用しない
火災の原因になります。

必ずお守りください (安全上の注意) ⑥

お願い

機器について

- ・この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをすると、機器の寿命が著しく短くなります。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
- ・長期間使用しない場合は・・・
 - ・ガス栓を閉めてください。
 - ・各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。再使用時は、完全に取り外してください。
 - ・乾電池を電池ケースより抜いてください。
 - ・乾電池の液漏れにより、**機器をいためる原因になります。**
- ・機器を廃棄する場合は、乾電池を取り外し、専門の業者に処理を依頼してください。

機器のご使用について

- ・消火後、しばらくの間はトッププレートが熱くなっている場合があるため注意してください。
- ・使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
- ・トッププレートのごとく・バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがあります。ご使用上問題ありません。
- ・トッププレート上で、鍋などをすべらせたりしないでください。**トッププレートや鍋が損傷する原因になります。**
- ・トッププレート上で、硬いものを落させたり、鋭利なものごすったりしないでください。**トッププレートがへこんだり、変形、フッ素コートの子ズ、はく離の原因になります。**
- ・機器の下にオープンを設置して使用している場合、オープンのとびらを半開きのままで使用しないでください。**やけどや過熱による変形などの原因になります。**
- ・トッププレート上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により、**機器が故障する原因になります。**

コンロのご使用について

- ・鍋の重さは温度センサーの密着を確実にするため300g以上(調理物の重さを含む)にしてください。とくに片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。
- ・弱火のときは炎が見えにくい場合があります。消し忘れに注意してください。
- ・調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してからのせかえてください。火を消さずに作業をすると、**やけどの原因になります。**
- ・コンロを弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらや、グリルとびらをゆっくり開閉してください。キャビネットとびらや、グリルとびらの開閉により発生した風で、**コンロの火が消える場合があります。**
- ・強火で長時間使用すると、まれに鍋ごとくがくっつくことがあります。鍋を動かすときは注意してください。
- ・煮こぼれしたときは、その都度お手入れを行ってください。バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、**機器焼損の原因になります。**機器の内部に煮汁が浸入すると、**故障の原因になります。**

グリルのご使用について

- ・連続で使用する場合は一旦火を消し、再度点火してください。グリル庫内が高温になっていると、グリル過熱防止センサー(20ページ)がはたらいて、**焼き上がる前に消火する場合があります。**
- ・魚などの焼き加減を見るときなど、グリル受け皿を約1分以上引き出したままにする場合は、一旦火を消してください。グリル過熱防止センサー(20ページ)がはたらいて、**消火する場合があります。**
- ・冷凍の食材は、しっかりと解凍し、冷蔵の食材は、常温でしばらく置いてください。しっかりと解凍したり、常温にしておかないと、時間がかり、安全機能がはたらくことがあります。また、焼きあがりがよくない場合や、生焼け状態になる場合があります。

お手入れについて

- ・機器や機器周辺(キッチン天花板など)に水をかけたり、水を流しての掃除はしないでください。また、ぬれふきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから使用してください。機器内部に水が浸入し、**故障の原因になります。**

周囲の防火措置（機器の設置）

機器の設置・移転および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

周囲の離隔距離

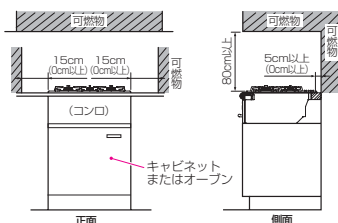
機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。

警告

！ 必ず守る 周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する
離隔距離が少ないと、**火災の原因になります。**

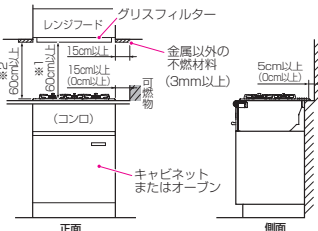
※機器の周囲の可燃物（可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む）とは、トッププレート上部に貼り付けの防火性能評価シールに基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合



※（ ）内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

レンジフードおよび不燃材の場合



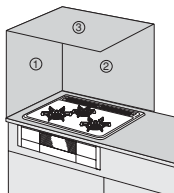
防熱板（別売品）について

離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス（別紙お問い合わせ先一覧表）にお問い合わせください。

警告

！ 必ず守る 防熱板は、必ず指定のものを使用する
防熱板に同梱されている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けしないと、**火災の原因になります。**

・防熱板は3種類用意しています。
・用途に適した防熱板を選んでいたき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は防熱板に同梱されている「取付説明書」をご覧ください。



※イラストはイメージです。

防熱板の種類（ステンレス製）				
	部品コード・型番	高さ(mm)	幅(mm)	現金標準価格：税込
①	DP 0128	590	535	¥6,090 (本体価格 ¥5,800)
②	LP 0130	590	600	¥6,090 (本体価格 ¥5,800)
③	DP 0129	550	900	¥6,090 (本体価格 ¥5,800)

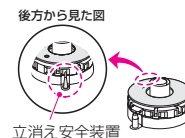
※2011年10月現在の価格です。
価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。

安心・安全機能

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。

立消え安全装置（コンロ）（グリル）

※火が消えてから数秒後にガスを完全に止めます。
※再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全になくなってから点火してください。



◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します。

コンロ消し忘れ消火機能（コンロ）

点火後、約120分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると自動消火します。
※左右コンロは高温炒めモード使用時、約60分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。（49ページ）

グリル消し忘れ消火機能（グリル）

連続使用可能時間は約18分です。点火後、最長で約18分間連続使用すると自動消火します。

◎天ぷら油の過熱を未然に防止します。

天ぷら油過熱防止機能（コンロ）

油温が約250℃になると自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。自動火力調節している状態が約30分続くと自動消火します。約250℃以上になる場合は、約30分を経過する前に自動消火します。
※鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
※高温炒めモードを使用している間は、この機能ははたらきません。

注意

！ 必ず守る 天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で自動消火します。

焦げつき自動消火機能（コンロ）

焦げつきの程度は、鍋の材質・火力・調理物によって異なります。
※高温炒めモードを使用している間は、この機能ははたらきません。
※弱火から強火に切り替えたときに温度センサーがはたらいで自動消火することがあります。再度点火すると正常に作動します。

◎グリル庫内が過熱すると自動消火します。

グリル過熱防止センサー（グリル）

グリル庫内やグリル受け皿の温度が異常に高い場合や、連続焼きや空焼きなどで高温になると、自動的に火力を弱めたり、自動消火します。

注意

！ 必ず守る グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、グリルとびらガラスやグリル受け皿などの温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

乾電池の入れかた

乾電池を交換するときは、必ず機器が冷えてから行ってください。

・乾電池の交換時期が近づくと電池交換サインが点滅し、最初の点火操作時はブザー音「ピーピーピー」でお知らせします。
乾電池の容量がなくなると点火できなくなりますので、新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。

① 電池ケースふたを開ける

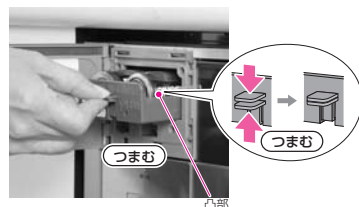
○左パネル上面(電池ケースふた)の右側に指を引っ掛け、パネルを開ける。



※電池ケースふたは約90°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。ふたが破損する原因になります。

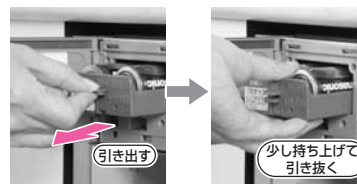
② 電池ケースを出す

○電池ケース前面にある上下の凸部をつまむ。



③ 電池ケースを引き抜く

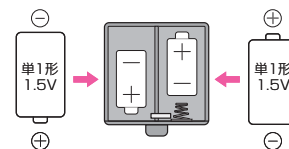
○電池ケース前面にあるつまみを持ち上げ、電池ケースを引き抜いてください。



※電池ケースは落下防止のため、途中で止まる仕様になっています。電池ケース上下をはさむように持ち替え、少し持ち上げて引き抜いてください。

④ 乾電池を入れる

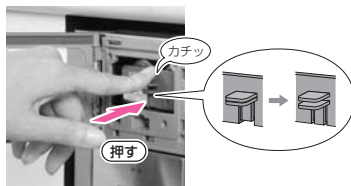
○アルカリ乾電池(単1形：2個)の⊕ ⊖を確かめ、電池ケースに組み込んでください。



※乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。また、新しい乾電池と古い乾電池または、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の寿命が短くなります。

⑤ 電池ケースを押し込む

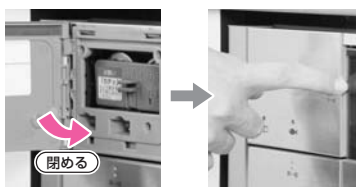
○カチッと音がするまで「押」マークをしっかり奥まで押し込み、抜けないことを確認してください。



※確実に奥まで差し込まないと、電源が入らなかったり、電池交換サインが点滅する場合があります。

⑥ 電池ケースふたを閉める

○左パネル上面(電池ケースふた)を元どおりに閉めて、機器の電源が入るか確認する。



※パネル(電池ケースふた)を開けにくい場合は、グリル部を引き出した状態で行ってください。

⚠注意



乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しない
乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、**目などに入ると大変危険です。**

乾電池に関するお願い

- ・乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
- ・乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量が全くなかった場合、電池交換サインは点滅しません。
- ・乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
- ・アルカリ乾電池(単1形：2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。
- ・アルカリ乾電池(単1形：2個)でも、使用状況・使用時間・乾電池製造メーカー・新しい乾電池と古い乾電池または、種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合、交換時期が1年以内と短くなる場合があります。また、マンガン乾電池を使用した場合も交換時期が極端に短くなります。
- ・未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電池交換サインが点滅する場合があります。また、付属のアルカリ乾電池(単1形：2個)は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
- ・電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。**電池機能不良の原因となります。**
- ・単2形、単3形乾電池を単1形サイズにする電池スパーサーは、電池ケースの ⊖ 端子が接触せず、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも、交換時期が極端に短くなります。

コンロを使う準備

鍋の選びかた

鍋などの種類	煮もの	炒めもの 揚げものなど (※6 油の量: 200mL以上)	便利機能		
			揚げもの モード [F29] (油の量: 500~ 1000mL)	湯わかし モード [F31] (水の量: 500~ 2000mL)	炊飯 モード [F33] (ごはん: 1~5合 おかゆ: 0.5~1合)
アルミ製の鍋・文化鍋	○	○	○	○ ※4	○ 深めのもの
ホーロー鍋・ ステンレス製の鍋(厚手) (鍋底厚み2mm以上)	○	○	○	○ ※4	○ ※5 深めのもの
ステンレス製の鍋(薄手) (鍋底厚み2mm未満)	○ ※1	×	×	○ ※4	○ ※1 深めのもの
ステンレス製の無水鍋・ ステンレス製の多層鍋	○ ※2	○	×	○ ※4	×
鉄製の鍋・ 中華鍋・ フライパン	○	○	○ ※3	×	×
土鍋・ 圧力鍋・ 耐熱ガラス容器	○ ※2	×	×	×	×
やかん	—	—	—	○ ※4	—

○: 適しています。 ×: 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1: 焦げつきがきつくなります。

※2: 途中消火したり、焦げつく場合があります。

左右コンロは高温炒めモード(37ページ)にすると途中消火せず使用できます。

ただし、焦げつき自動消火機能がはたらかないため注意してください。

※3: 中華鍋は底の平らな鍋を使用してください。

※4: 必ずふたをしてください。

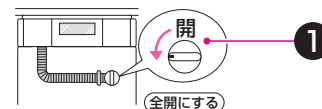
※5: ホーロー鍋の場合、焦げつく場合があります。

※6: 揚げものの場合の油の量を示します。

中華鍋を使うときのお願い

- ・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
- ・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。
- ・必ず取っ手を持って調理してください。

1 ガス栓を全開にする

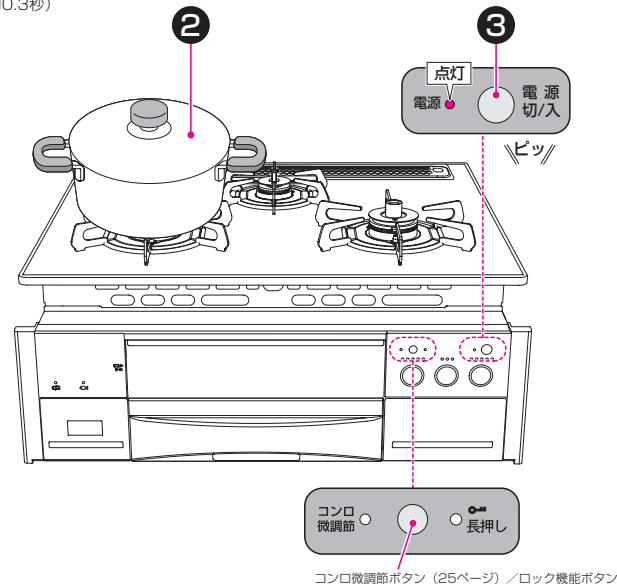


2 ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

・点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。

3 電源ボタンを押す

・「ビッ」と音がするまで押す。
(約0.3秒)



コンロ微調節ボタン (25ページ) / ロック機能ボタン

ロック機能について

小さなお子さまのいたずらや誤作動を防止するために、操作をロックすることができます。

・電源が入っている状態で使用していないときに、ロック機能ボタンを3秒以上押し
ことでロックの設定／解除ができます。

※ロック状態で電源を切っても(オートパワーオフしても)、ロックは解除されません。

ロックの設定



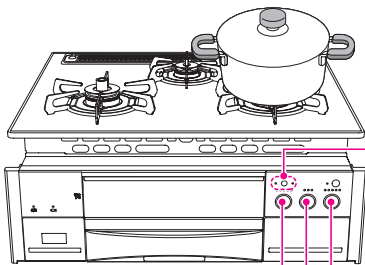
ロックの解除



コンロの使いかた (基本操作)

➡『コンロを使う準備』(23ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く



コンロ微調節ボタン



① ② ③

②

調理をするときのコツ

炒めもの(野菜炒めなど)、焼きもの(目玉焼き、ハンバーグなど)をする場合は、1分程度予熱する。

※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。

きんぴらごぼう・インスタント焼きそばなどは、高温炒めモードで調理する。(37ページ)

※水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

揚げものは揚げもののモードで調理する。(29ページ)

※揚げもののモードを使わずに多めの油を加熱すると、機器が煮もの調理と判断し、低い温度で自動消火することがあります。



⚠️ 注意

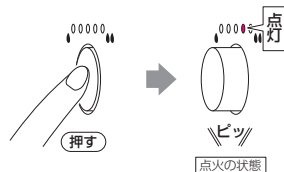
❗ みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにし、よくかき混ぜる

※強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがってやけどをする原因になります。(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。)

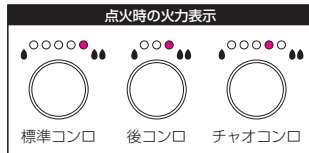
※突沸現象については、13ページを参照してください。

① 点火する

○点火/消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。



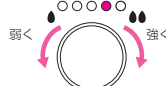
点火時の火力表示



※チャオコンロは安全のため、火力4で点火します。

② 火力調節する

○点火/消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。



※点火後、約30分毎にブザー音「ビビビ」で使用中であることをお知らせします。

○コンロ微調節ボタンを押し、火力調節すると、火力をさらにこまかく調節できます。



コンロ	通常	微調節
左・右	5段階	37段階
後	3段階	19段階

中間火力状態のときは、2ヶ所のランプが点灯します。

※すべてのコンロが火力微調節状態になります。

※再度、コンロ微調節ボタンを押すと、ブザー音「ビビ」でお知らせし、ランプが消灯して、火力微調節状態は取り消されます。

※設定を解除しても消火しません。

③ 消火する

○点火/消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。



※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意していただきたいこと

鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。
トップレートに**キズがつくおそれがあります。**

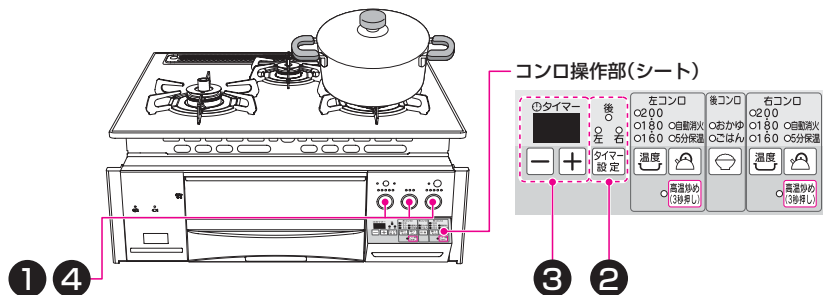
お知らせ

約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(49ページ)

タイマーモード (全コンロ)

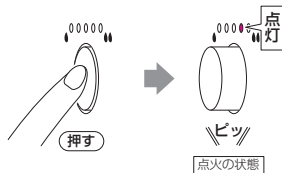
➡「コンロを使う準備」(23ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く

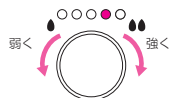


① 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

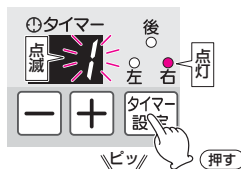


○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。



② コンロを選択する

○コンロを選択します。
※火のついていないコンロと、炊飯・湯わかしモード中のコンロは選択できません。



○押すたびに、次のように切り替わります。

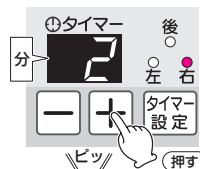


・「+」か「-」を押すか、約10秒たつと、タイマー表示が点灯に変わり、タイマーがスタートします。
※チャオコンロが左側仕様の場合は、「左」と「右」の点灯順が逆になります。
※調理中でも、タイマー設定キーを押すと、プザー音「ビッ」でお知らせし、ランプが消灯して、タイマーモードは解除されます。
※設定を解除しても消火しません。

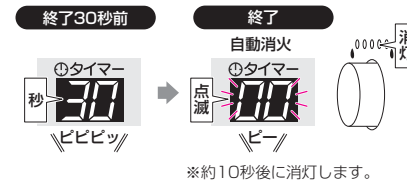
③ タイマーを設定する

自動で
火が消える

○タイマーを設定します。(タイマーがスタートします。)



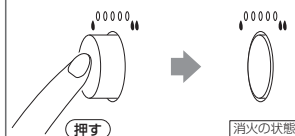
1分刻みで1～99分(最長)に設定できます。
※押し続けると、10分刻みで変わります。
※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
※高温炒めモード使用時は最長60分です。



※約10秒後に消灯します。

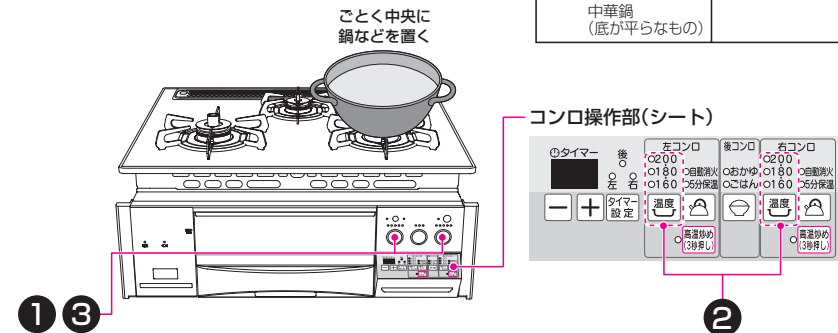
④ 消火の状態に戻す

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。



揚げもののモード (左右コンロ)

▶『コンロを使う準備』(23ページ)
をよく読み、準備をする



ご注意ください

- ・油の温度は天ぷら用鉄製鍋を基準に設定しています。鍋の種類・材質・大きさや厚み、油量などにより、設定温度と異なったり温度変化が大きくなる場合があります。
- ・油の温度が高い状態で温度設定したり途中で油を足すと、設定温度と油の温度が異なる場合があります。
- ・焼きものの焦げの程度は、フライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。
- ※弱火から強火に切り替わる瞬間、炎が大きくなりますので注意してください。
- ※使用途中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかります、その間点滅が続きます。
- 複数の揚げものをすると、低温設定のものから調理してください。
- ※一度に揚げ量は、油の表面積の半分程度にしてください。
- ※設定温度になっても調理物を入れないと、設定温度より調理油の温度が上昇することがあります。

焼きものにも便利

ハンバーグやギョーザ、ホットケーキなど焦げつきやすい焼きものも、揚げもののモードの温度調節を使えば簡単です。ほどよい焦げ色に焼きあげます。

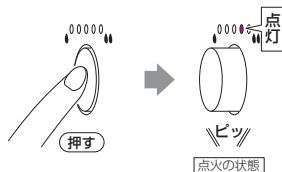
揚げもののコツ

次のような下ごしらえをすると、油の飛び散りをおさえることができます。

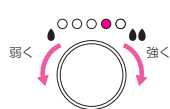
- ・イカ
皮をむき、両面に切り目を入れる。
- ・ししとう(中か空洞の野菜など)
切り目を入れる。
- ・ドーナツ
生地には、必ずベーキングパウダーや砂糖を入れる。
- ・エビ
尾は先を切る。
- ・うすら(ゆで卵など)
串などで刺す。
- ・魚介類や野菜など
水分をふき取る。

1 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。



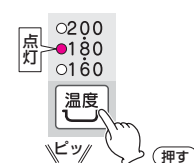
○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。



※火力は鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使用すると、機能が正しくはたきません。

2 温度を設定し、調理する

○着火後すぐに温度を設定します。
※最初は180°Cに設定されます。



○押すたびに、次のように切り替わります。
(160~200°Cまで、10°C刻みで設定できます。)



- ・設定すると表示が点灯し、数秒後に点滅に変わります。
- ・設定温度になるまで点滅が続きます。
- ※調理中でも、温度の変更は可能です。
- ※使用途中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかります、その間点滅が続きます。
- ※設定を解除しても消火しません。

3 消火する

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

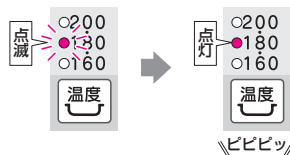


※必ず火が消えたことを確認してください。

設定温度のめやす

160°C	170°C	180°C	190°C	200°C
揚げもの	冷凍食品(コロッケなど)	手作りコロッケ	クルトン	
ドーナツ・フリッター				
焼きもの	ギョーザ・お好み焼き			
ホットケーキ	オムレツ			
ハンバーグ				

○設定温度になると、点滅から点灯に変わり、ブザー音「ピピピッ」でお知らせします。調理を始めてください。



- ・自動的に強火と弱火を繰り返し、設定した温度を保ちます。

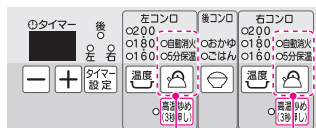
湯わかしモード (左右コンロ)

➡『コンロを使う準備』(23ページ)をよく読み、準備をする

ごとく中央に
やかんなどを
ふたをして置く

適した鍋	適した水の量
やかん 底の平らな鍋	500～2000mL ※ふきこぼれを防ぐために、やかんや鍋の大きさに応じた水量(最大容量の6～7割)にしてください。

コンロ操作部(シート)



ご注意ください

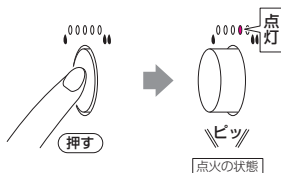
- ・火力はやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
- ・火力を弱火で使用しますと、ふっとうする前に保温になったり、消火したりします。
- ・お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火場合があります。
- ・やかんや鍋の材質、水の量、形状などにより消火や弱火になるタイミングが異なる場合があります。
- ※水の量が多すぎるとふきこぼれる場合がありますので、やけどなどに注意してください。

湯わかしするときのお願い

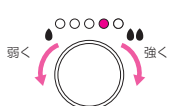
- ・やかんや鍋にふたをする
- ・やかんや鍋のふたの開閉はしない
- ・やかんや鍋を動かさない
- ・水をかき混ぜない
- ・途中で水を入れたり具を入れない
- ・途中で火力を変えない

① 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。



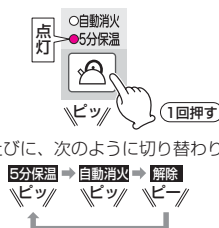
○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。



※火力はやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使いますと、ふっとうする前に保温になったり、消火したり、機能が正しくはたらかません。

② 湯わかしを設定する

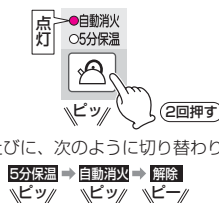
○着火後すぐに5分保温を設定します。



○押すたびに、次のように切り替わります。

※設定を解除しても消火しません。

○着火後すぐに自動消火を設定します。



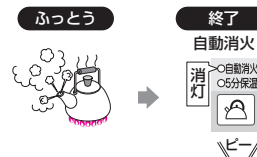
○押すたびに、次のように切り替わります。

※設定を解除しても消火しません。

自動で火が消える

③ 消火の状態に戻す

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。



炊飯モード (後コンロ)

下準備

① お米を正確にはかる

・計量カップやはかりで、炊飯したいお米の量を正しくはかる。

1回で炊ける量

ごはん	1～5合
炊き込みごはん	1～4合
おかゆ	0.5～1合

例) 180mLの計量カップ



すり切りいっぱい、
お米1合です。

② お米をとぐ

・たっぷりの水でさっとかき混ぜ、水を素早く捨てる。

・一度目のとき水はすぐに流す。

※ぬかを含んだ最初のとき水を、乾いたお米が吸わないようにしてください。

・「とぐ→洗い流す」を素早く数回繰り返す。

※といだあとのお米は、よく水を切ってください。

※お米をとき足りない場合は、においや着色および、ふきこぼれの原因になり、炊飯がうまくできない場合があります。

③ お米に水を含ませる

お米と水の量のめやす

・ごはんのかたさを調節するときは、水量で調節する。

※増減する水量のめやすは、±10%程度にしてください。

※炊きあがりはお米の種類や質、鍋の種類や水温などによって異なりますので、お好みに応じて加減してください。

ごはん

お米の量	水の量
1.0合(150g)(180mL)	約300mL
1.5合(225g)(270mL)	約400mL
2.0合(300g)(360mL)	約500mL
2.5合(375g)(450mL)	約600mL
3.0合(450g)(540mL)	約700mL
3.5合(525g)(630mL)	約800mL
4.0合(600g)(720mL)	約900mL
4.5合(675g)(810mL)	約1000mL
5.0合(750g)(900mL)	約1100mL

おかゆ

お米の量	水の量
0.5合(75g)(90mL)	約700mL
1.0合(150g)(180mL)	約1000mL

お米を水に浸す時間

・洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間程度)

※といだあと、すぐに炊飯をするとごはんがかたくなります。

※ごはんに芯が残るので、お湯を使わないでください。

※一度水に浸したお米は砕けやすくなり、砕け米が混じることがあります。

砕け米・粉米などが混ざった状態で炊飯すると、炊きムラや焦げの原因になります。

無洗米を炊くときのコツ

・1～2回すすぐ。

※にこったまま炊飯すると、でんぷん質が沈殿し、上手に炊けない原因になります。

・洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間程度)

・水の量を3%程度多くする。または、無洗米専用の計量カップを使う。

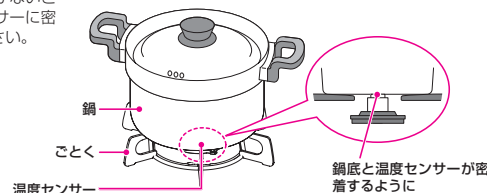
・よく混ぜて気泡をとばす。

※水を加えただけでは、表面に気泡ができ、水が吸収されず上手に炊けない原因になります。

④ 鍋をセットする

・水に浸した状態のお米が入っている鍋を、正しくごとくに置く。

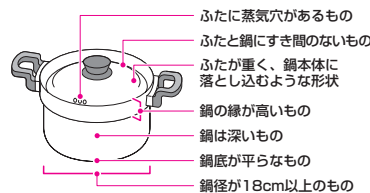
※温度センサーの上面や、鍋底に異物がないことを確認し、鍋底の中心が温度センサーに密着するように正しくセットしてください。



炊飯モードに適した鍋

・おいしく炊くために、炊飯に適した鍋を選ぶ。

※市販の炊飯鍋などでも炊くことができます。



※ふたに蒸気穴がない場合や、鍋の材質・形状によっては焦げつきや、ふきこぼれなどを起こし、うまく炊けない場合があります。

このような場合は、別売の炊飯専用鍋を使用してください。

炊飯専用鍋も別売しています。(67ページ)

※別売の炊飯専用鍋のお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

炊飯モードに適した鍋		炊飯モード (ごはん: 1～5合 おかゆ: 0.5～1合)
炊飯専用鍋(別売)		○
アルミ製の鍋・文化鍋		○ 深めのもの
ホーロー鍋・ ステンレス製の鍋(厚手) (鍋底厚み2mm以上)		○ ※1 深めのもの
ステンレス製の鍋(薄手) (鍋底厚み2mm未満)		○ ※2 深めのもの
ステンレス製の無水鍋・ ステンレス製の多層鍋		×
土鍋・圧力鍋・ 耐熱ガラス容器		×

○: 適しています。

×: 適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

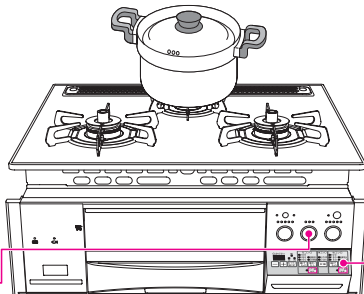
※1: ホーロー鍋の場合、焦げつき場合があります。

※2: 焦げつきがきつくなります。

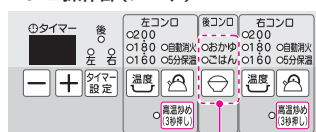
炊飯モード (後コンロ)

「コンロを使う準備」(23ページ)
「炊飯モード」(33ページ)
をよく読み、準備をする

ごとき中央に鍋を置く

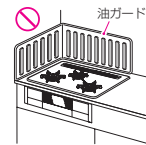


コンロ操作部(シート)



ご注意いただきたいこと

- ・ 機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わるため、燃焼不良となり、炊きムラなどの原因になります。炊飯時は油ガードなどを取り除いてください。
- ・ 炊飯途中で、水をたしたり、鍋のふたを開けたりしないでください。また、炊飯の途中で炊飯モードを切り替えたり、他のキーやボタンを押さないでください。うまく炊けない場合があります。
- ・ ごはんの場合は、消火後むらし(約10分)を必要とします。むらしをしないと、うまく炊きあがりません。
- ・ 炊きごみごはんの場合は、具をお米の上にのせて炊いてください。



おかゆについて

おかゆモードはお米からおかゆをつくる機能です。

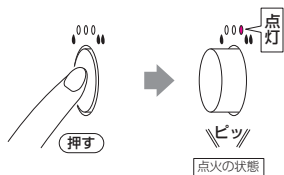
※ごはんからおかゆをつくる場合は、炊飯モードを使用しないで、下記を参考に手動で調理してください。
※おかゆの味付けは、自動消火してから行ってください。最初から、または炊飯途中で調味料や具を入れると、うまく炊けない場合があります。

ごはんからおかゆの炊きかた(2人分(茶わん約2杯分:300g)の例)

- (1) 冷やごはんはザルに入れ、流水でサッと洗ってほぐす。(ぬめりをとります。)
- (2) 鍋に水(4カップ強)とごはんを入れ強火で炊く。
- (3) 煮立ったらアクを取り、弱火で10~15分炊く。
- (4) 消火し、好みに応じて塩を少々加え、数回かき混ぜてできあがり。

1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。



2 炊飯を設定する

○着火後すぐにごはんを設定します。



○押すたびに、次のように切り替わります。

ごはん → おかゆ → 解除
ビッ ビッ ビッ

※設定を解除しても消火しません。

○着火後すぐにおかゆを設定します。



○押すたびに、次のように切り替わります。

ごはん → おかゆ → 解除
ビッ ビッ ビッ

※設定を解除しても消火しません。

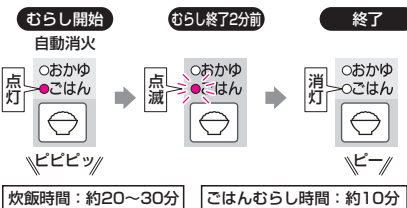
自動で火が消える

3 消火の状態に戻す

○点火/消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。



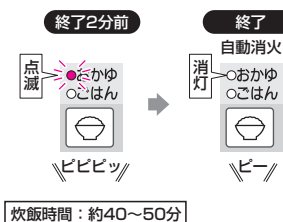
※ごはんの場合は、むらし後、ごはんをほぐしながら底からよくかき混ぜてください。
余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。



炊飯時間: 約20~30分

ごはんむらし時間: 約10分

※むらし中に点火/消火ボタンを戻すと、むらし終了のお知らせブザー音が鳴りません。



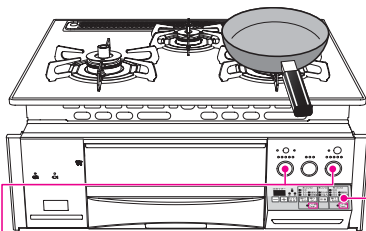
炊飯時間: 約40~50分

高温炒めモード (左右コンロ)

・直火料理(あぶりもの)、いりもの、炒めもの(鍋をひんぱんに上げる料理)をする場合などは、高温炒めモードをお使いください。

➡『コンロを使う準備』(23ページ)をよく読み、準備をする

ごとく中央にフライパンなどを置く



コンロ操作部(シート)



1 3

2

高温炒めモードとは

通常時より高い温度まで調理できる機能です。高温炒めモードを使用しても、鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
※高温炒めモードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

警告



高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない

高温炒めモードでは、天ぷら油過熱防止機能が作動せず、消火温度が高くなっていますので、調理油が**発火し、火災の原因になります。**

注意



直火料理(あぶりもの)をする場合は、温度センサーの真上を避ける

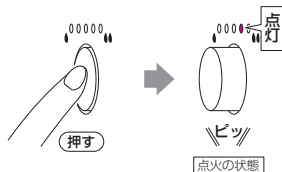
温度センサー上に焼き汁などが滴下しないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。

温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、**発火や途中消火、機器焼損の原因になります。**

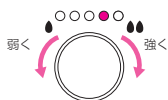
また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサーの**故障の原因になります。**

1 点火し、火力調節する

○点火/消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

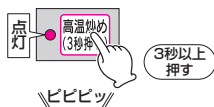


○点火/消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。



2 高温炒めを設定する

○高温炒めキーを3秒以上押してください。
ブザー音「ビビビッ」でお知らせし、ランプが点灯します。



※点火する前にも設定できます。

○取り消すときは、再度、高温炒めキーを押してください。



※設定を解除しても消火しません。

3 消火する

○点火/消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。



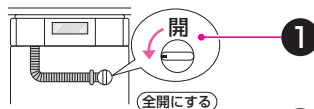
※必ず火が消えたことを確認してください。

お知らせ

約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※高温炒めモードを取り消して、さらに使用の場合は、点火してから約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(49ページ)

グリルを使う準備

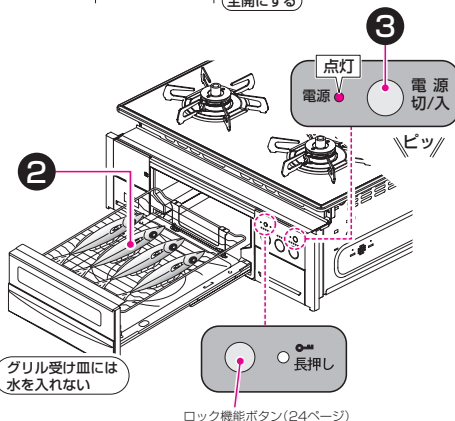
1 ガス栓を全開にする



2 調理物を入れて、グリルとびらを閉める

3 電源ボタンを押す

・「ピッ」と音がするまで押す。
(約0.3秒)



△注意

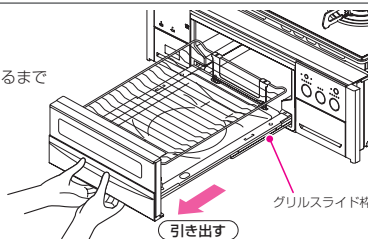
禁止 グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で、**やけどのおそれがあります。**

グリルの開けかた

グリルスライド枠は取り外せません

・グリルとびらを水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出す。

※グリル焼網、グリル受け皿、グリルとびら、サイドカバーの取り外しかたは、53ページを参照してください。



お知らせ

・グリル受け皿をキズつけないように、気をつけてください。キズがつくと、表面に施されたクリアコートがはがれる原因になります。

はじめてグリルを使うとき

・梱包部材が入っていないか確認してください。
・グリル庫内の金属部品に残った加工油を焼き切るため、グリル焼網を取り出し、グリルとびらを閉め、強火(上火:「強」、下火:「強」)で約8分空焼きしてください。煙やにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。
空焼きしているときに、グリル過熱防止センサーが作動し、自動消火する場合があります。
消火した場合(タイマー表示部「02」点滅表示)は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。

お知らせ

・グリル焼網、グリル受け皿は消耗部品です。ご使用状態や経年変化などにより、魚や脂汚れがとれにくくなったり、コーティングがはがれる場合があります。交換部品(有料)として準備しております。(66ページ)
お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

食材の準備

魚の下ごしらえ

・冷凍の魚は、しっかりと解凍する。
・冷蔵の魚は、常温でしばらくおく。
※しっかりと解凍したり、常温にしておかないと、調理時間がかかり、生焼けになったり、安全機能がはたらく場合があります。
・生魚は、水洗いしたあと、水気をよくふき取る。
・みそ漬けや、かす漬けの魚は、みそやかすをよくふき取る。



魚以外の下ごしらえ

・なすや、ししとうなどの野菜は、表面に切り目を入れる。
・鶏肉など、脂の多い食材は、フォークなどで皮に穴を開け、皮を上にして焼く。
※切り目や穴を開けずに焼いた場合、食材に火がついて、庫内で**発火するおそれがあります。**



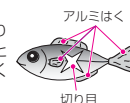
塩焼きの下ごしらえ

材料にあった塩加減(魚の重量の2%程度)が必要です。塩をつけると、身がしまって身崩れしにくくなります。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。
・さばやいわしなど脂肪分の多い青の青い魚は、多めに塩をして、おき時間は長めにする。
・白身魚は、少なめに塩をして、おき時間は短めにする。
・川魚や、いか、えび、貝などは、焼く直前に塩をふる。



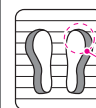
姿焼きなどの場合

・尾やヒシはとくに焦げやすいので、多めに塩をつけたり、アルミはくで包む。
・切り目を入れる。
※切り目を入れると、火の通りがよくなり、皮が破れることによる脂の飛び散りも少なくなることができます。



魚を焼くときは

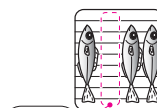
・魚は身の厚い部分や、頭を奥に置いて置いてください。
・魚を1尾だけ焼く場合は、まん中を避けて、左右どちらか端に置いてください。
・魚を3尾以上焼く場合は、まん中を避けて、左右どちらかに寄せて置いてください。
・ししゃもなどの小さな魚は、尾が焦げやすいのでグリル焼網の手前側に置いてください。



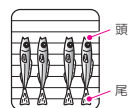
↓ 手前側



↓ 手前側



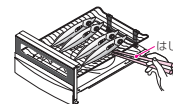
↓ 手前側



↓ 手前側

魚を取るときのコツ

・はしをグリル焼網と平行に入れると、グリル焼網に付着した魚がはがしやすくなります。



△警告

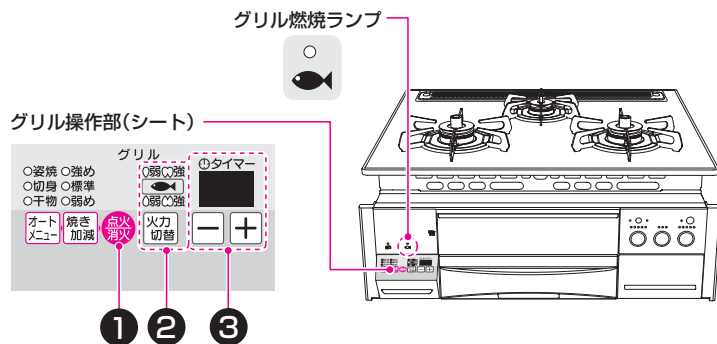
禁止 グリル排気口の上に、ふきんやタオルなどをのせたり、ふさがない
グリル排気口の周りには、ものを置かない
火災や不完全燃焼の原因になります。

△注意

禁止 調理物を取るときなどは、必ず消火し、グリル部周辺に触れない
とくにグリルとびらなどが熱くなっており、**やけどの原因になります。**

グリルの使いかた (マニュアルグリル)

➡『グリルを使う準備』(39ページ)
をよく読み、準備をする



形くずれを防止するコツ

2分程度予熱後、一旦消火してから、グリル焼網にサラダ油を塗ってください。その後、魚をグリル焼網にのせて再度点火し、火力を調節してタイマーを設定してください。(詳しくは付属のクッキングブックをご覧ください。)



警告



鶏肉などの脂の多い食材を調理するときは、上下の火力を「弱」にして焼くようにする
グリル受け皿にたまった脂に引火し、火災のおそれがあります。

注意



焼きすぎに注意する
魚に火がつき火災の原因になります。
グリル庫内で魚などが燃えたり、たまった脂に引火した場合は、すぐに点火/消火キーを押して消火してください。

ご注意ください

- ・連続の使用などでグリル庫内が高温になると、安全のため消火します。グリル過熱防止センサーがはたらいて消火した場合(タイマー表示部「02」点滅表示)は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。
- ・脂の多い魚を焼いているときは、煙が多く出る場合があります。

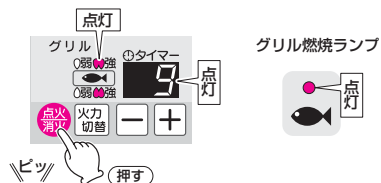
次の魚は、とくに焼きすぎに注意してください。

- ・干物や、脂分の多い魚(にしん・塩さばなど)
発火しやすいので、調理中は、グリル庫内の状態に十分注意してください。
- ・小魚の干物(めざし・うるめなど)
焼き時間のめやすは2~3分です。(グリル庫内の温度が高い場合は1分程度。)

焼きすぎた場合、魚やたまった脂が燃えて、**火災のおそれや機器焼損の原因になります。**

① 点火する

○点火/消火キーを押し、点火してください。



○着火すると、自動的にグリルタイマーがスタートします。



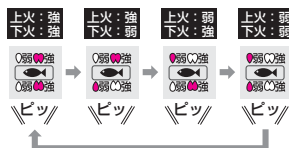
- ※グリル庫内の温度に応じて、6分~9分を自動的に設定します。(設定は変更できます。)
- ※グリルタイマーは安全のため、解除できません。

② 火力調節する

○火力調節をします。



○押すたびに、次のように切り替わります。



③ タイマーを設定する

自動で
火が消える

○タイマーを設定します。



- 1分刻みで1~18分(最長)に設定できます。
- ※調理中(タイマー作動中)でも、タイマーの変更は可能です。
- ※連続使用可能時間は18分です。

終了30秒前



終了

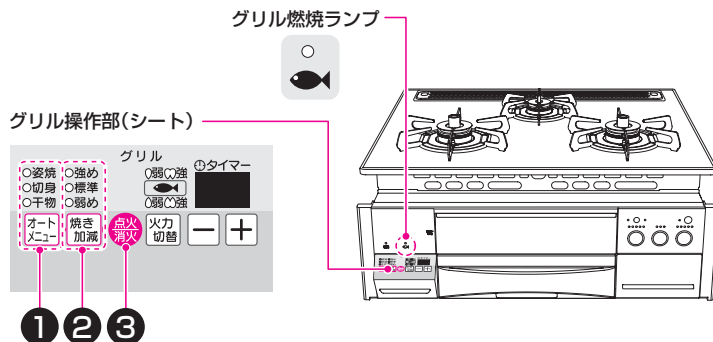
自動消火



※約10秒後に消灯します。

グリルの使いかた (オートグリルモード) ①

➡『グリルを使う準備』(39ページ)
をよく読み、準備をする



△注意



・魚などの焼けかたが浅い場合や、焼き足したい場合はマニュアルグリル(41ページ)で焼く
その場合、設定時間を短くして焼きすぎに注意してください。



・焼きすぎた場合、調理物の脂が燃えて、**火災のおそれや機器焼損の原因になります。**
・みりん干し・めざし・市販のみりんづけ・うるめいわしの丸干し・身欠きにしんは、マニュアル
グリルで焼き、オートグリルモードを使用しない
発火のおそれがあります。

使いかたのお願い

機器が正しい調理時間を予測するため、下記のことをお守りください。

- ・オートメニューは魚専用です。魚以外は、マニュアルグリルで焼いてください。
- ・予熱しないで使用してください。
- ・オートグリル使用中は、グリルとびらを開けないでください。
- ・種類や大きさの異なる魚を同時に焼かないでください。

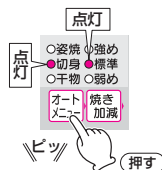
連続して調理するときなど、グリル庫内の温度が高い場合は、オートグリルモードを受けつけない場合があります。
オートメニューキーを押すとブザー音「ピーピーピー」と、タイマー表示部「H」(点滅)でお知らせします。
しばらく(約3分)待ってから使用してください。

※すぐに使用したい場合は、マニュアルグリル(41ページ)で様子を見ながら焼いてください。
調理終了のお知らせ後、すぐに調理物を取り出してください。

- ・余熱で焦げることがあります。

① メニューを設定する

○オートメニューキーを押し、メニューを設定します。
※最初は「切身」・「標準」に設定されます。

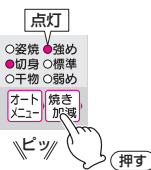


○押すたびに、次のように切り替わります。



② 焼き加減を設定する

○焼き加減キーを押し、焼き加減を設定します。



○押すたびに、次のように切り替わります。



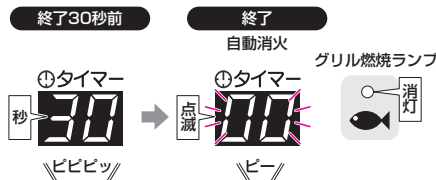
③ 点火する

自動で
火が消える

○点火/消火キーを押し、点火してください。



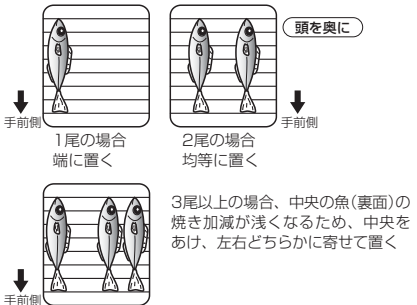
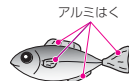


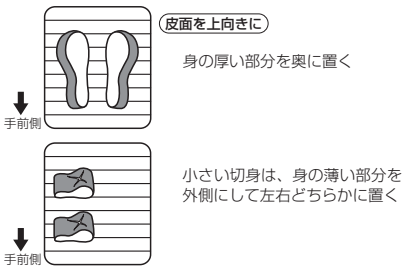
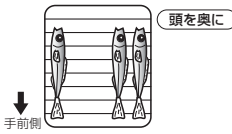
・点火すると機器が調理時間を予測し、時間(分)が表示されるまで、グリルタイマー表示のドットが点滅します。
※自動機能のためグリルタイマー時間の変更はできません。
また、自動的に火力を切り替えます。



※約10秒後に消灯します。

グリルの使いかた (オートグリルモード) ②

魚の種類や大きさなどにより、オートメニューと焼き加減を選んでください。

オートメニュー	焼き加減 弱め	焼き加減 標準	焼き加減 強め	魚の置きかた	ポイント
姿焼	※さんま 1～5尾(1尾 180g以下)	※さんま 1～5尾(1尾 180g以上) ※あじ 1～5尾(1尾 200g以下) 鯛 1尾(1尾 250g以下)	※あじ 1～5尾(1尾 200g以上) 鯛 1尾(1尾 250g以上)	 <p>1尾の場合 端に置く</p> <p>2尾の場合 均等に置く</p> <p>3尾以上の場合、中央の魚(裏面)の 焼き加減が浅くなるため、中央を あけ、左右どちらかに寄せて置く</p> <p>↓ 手前側</p> <p>頭を奥に</p>	<p>尾・ヒレをきれいに焼く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多めに塩をつける ・アルミはくで包む  <p>火通りをよくする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・皮面に切り目を入れる  <p>みそ漬け・照り焼きをきれいに焼く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表面のみそ漬けタレを十分にふき取り、焼き加減を弱めで調理する 
切身	ぶり照り焼き 1～6切(1切 80g程度) さわらみそ漬け 1～6切(1切 80g程度)	さば切身 1～6切(1切 80g程度) 鮭切身 1～6切(1切 80g程度)	さば切身 1～2切(1切 150g程度) 太刀魚 1～6切(1切 80g程度)	 <p>皮面を上向きに</p> <p>身の厚い部分を奥に置く</p> <p>↓ 手前側</p> <p>小さい切身は、身の薄い部分を 外側にして左右どちらかに置く</p> <p>↓ 手前側</p>	<p>ご注意いただきたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・干物は乾燥しているほど焼けやすくなります。 ・脂のりがよい場合は焦げやすくなります。
干物	ししゃも 約10尾 さんま開き 1～2枚(1枚 100g程度)	あじ開き 1～4枚(1枚 70g程度) 干しかれい 1～2枚(1枚 120g程度) ほっけ開き 1～2枚(1枚 180g以下)	ほっけ開き 1～2枚(1枚 180g以上)	 <p>頭を奥に</p> <p>↓ 手前側</p>	<p>厚みのある魚の場合のお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚みのある魚など(切身 2.5cm、姿 4cmを超えるもの)は中まで火が通りにくいので、マニュアルグリル(41ページ)で様子を見ながら焼いてください。

※：さんま、あじを5尾焼くと、中央の魚(裏面)の焼き加減が浅くなります。
1～4尾で焼くことをおすすめします。

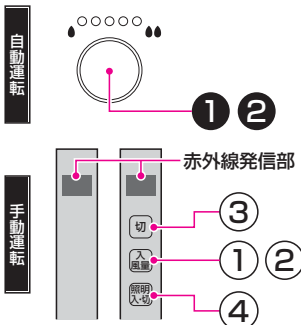
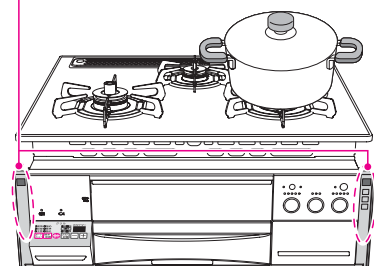
レンジフードファン連動機能の使いかた

必ず専用のフード運動用リモコンを使用してください。

※指定以外のレンジフードファンでは運動しません。

この機器には、フード運動用リモコンが付属されていません。フード運動用リモコンを別売しています。(67ページ) 別売のフード運動用リモコンのお求めは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

フード運動用リモコン



レンジフードファン連動機能とは

・機器の点火および消火操作により、機器から出される赤外線が機器を操作する人に反射し、レンジフードファン側で受信してレンジフードファンを自動的に運転および停止させるものです。

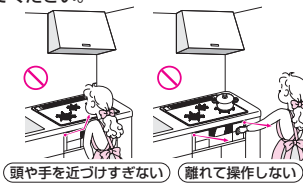
レンジフードファン連動機能をOFF(解除)、またはON(設定)にする場合

・機器のフード運動用リモコン操作部の「入/風量キー」と「切キー」を同時に3秒以上押ししてください。レンジフードの照明が点灯し、レンジフードファン連動機能がOFF(解除)になったことをお知らせします。(レンジフードの照明が点灯状態で、レンジフードファン連動機能がOFF(解除)の設定をすると、レンジフードの照明が消灯し、お知らせします。)レンジフードファン連動機能をON(設定)にする場合も同じです。

ご注意くださいこと

・下記の場合は、動作しないおそれがあるので注意してください。

- ・赤外線発信部の近すぎる位置に立っている。
- ・前かがみで操作し、手や顔で赤外線がさえぎられている。
- ・機器の横に立って操作している。
- ・テレビ・エアコンなどのリモコンを同時に操作している。
- ・機器の赤外線発信部やレンジフードファン側の赤外線受信部が汚れて、通信に障害が生じている。
- ・赤外線の反射しにくい服(黒い服やビロード、毛糸の服など)を着て操作している。
- ・レンジフードファン側の赤外線受信部に太陽光が当たったり、受信部と照明が近すぎる。



※運動しない場合は、レンジフードファンのスイッチもしくは、機器のフード運動用リモコンのキー部で操作する。

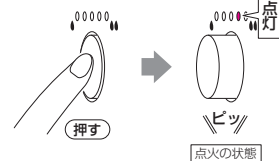
操作上のお願い

- ・コンロまたはグリルの点火/消火はカウンターから約20~40cm離れ、機器の正面に立って操作してください。
- ・レンジフードファンに関する取扱注意および使いかたは、レンジフードファンの取扱説明書をよくお読みください。

① 運転(点火)する

○点火/消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。(イラストはコンロの場合)

※点火操作をすることで、自動的にレンジフードファンが運転します。



※「標準」または「中」の風量で動作します。

詳細はレンジフードファンの取扱説明書を参照してください。なお、すでに他のコンロを使用している場合は、使用時の風量を維持します。

※必ず点火操作後(約5秒以内)にレンジフードファンが運転していることを確認してください。

※「風量」と「照明」の操作は、レンジフードファンもしくはフード運動用リモコンで行ってください。

② 停止(消火)する

○点火/消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

※消火操作をすることで、自動的にレンジフードファンが停止または常時換気となります。



※レンジフードファンは、消火操作から約3分後に自動停止または常時換気となります。(レンジフードのタイプにより、常時換気のない場合があります。詳細はレンジフードファンの取扱説明書を参照してください。)

※消火操作を行っても他のコンロ・グリルを使用している場合、レンジフードファンは停止しません。

※自動消火時(立消え安全装置動作、コンロ・グリルタイマー作動時など)にはレンジフードファンは自動停止しません。機器の点火/消火ボタンで「消火の状態」にするか、フード運動用リモコンの「切」キーを押してください。

① 運転する

○入/風量キーを押してください。



※「標準」または「弱」の風量で運転します。詳細はレンジフードファンの取扱説明書を参照してください。

② 風量を切り替える

○再度、入/風量キーを押してください。



○押すたびに、風量が切り替わります。※レンジフードファンの(風量)表示ランプを確認してください。

③ 停止する

○切キーを押してください。



※レンジフードファンの種類により、
・すぐ停止する。
・約3分後に停止する。
・常時換気に移行する。
場合があります。

④ 照明を入・切する

○照明キーを押してください。



○押すたびに、次のように切り替わります。



カスタマイズ機能

以下の機能を設定変更することができます。

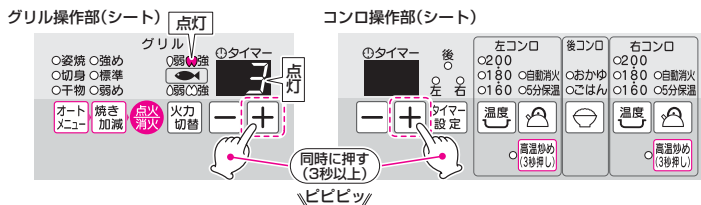
- ・電源オートパワーオフ機能時間(工場出荷時)は、『3分』に設定されています。
 - ・コンロ消し忘れ消火機能時間: 初期設定(工場出荷時)は、『120分』に設定されています。
- ※機器を使用していない状態で操作してください。

共通設定

- 電源を入れ、10秒以内にグリルタイマーの「+」とコンロタイマーの「+」を、3秒以上同時押す。

(グリル上火「強」が点灯します。)

※機器を使用していない状態で操作してください。



下記の手順に従い、を押し、変更したい機能の設定モードに切り替える。

※を押す毎に、『電源オートパワーオフ機能時間設定』と『コンロ消し忘れ消火機能時間設定』が切り替わります。

電源オートパワーオフ機能時間の変更方法(共通設定の続き)

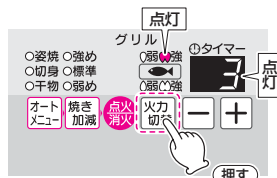
- で、電源オートパワーオフ機能時間設定に切り替える。

(グリル上火「強」が点灯します。)

- グリルタイマーの「+」・「-」で、設定時間を切り替える。

※1分・2分・3分・4分・5分の時間設定ができます。(初期設定: 3分)
例)「5」にすると、電源オートパワーオフ機能時は、5分に設定されます。

※電源ボタンをOFFにするか10秒以上経つと、ブザー音「ピー」でお知らせし、表示されている時間に自動設定されます。



コンロ消し忘れ消火機能時間の変更方法(共通設定の続き)

- で、コンロ消し忘れ消火機能時間設定に切り替える。(グリル下火強が点灯します。)

※全てのコンロの消し忘れ消火機能時間が変更になります。

※コンロ消し忘れ消火機能時間を変更した場合は、タイマー設定可能時間、連続使用可能時間は、右下表のようになります。



初期設定 →

タイマー表示	コンロ消し忘れ 消火機能時間	タイマー設定 可能時間	連続使用可能時間
3	30分	1~30分	30分
5	60分	1~60分	60分
9	90分	1~90分	90分
12	120分	1~99分	120分

- グリルタイマーの「+」・「-」で、設定時間を切り替える。

※30分・60分・90分・120分の時間設定ができます。(初期設定: 120分)

例)「9」にすると、コンロ消し忘れ消火機能時間は、90分になります。

※電源ボタンをOFFにするか10秒以上経つと、ブザー音「ピー」でお知らせし、表示されている時間に自動設定されます。

お手入れ (その前に)

- ・ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検(有料)をおすすめします。

また、煮こぼれや、誤って鍋をひっくり返すなど、機器内に多量の煮汁などが入った場合は、機器の故障や、機器寿命が短くなるおそれがありますので、点検(有料)をおすすめします。

※定期点検については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

注意



- ・お手入れは、ガス栓を閉め、機器が冷えてから手袋をはめて行う
とくにグリル排気口の中側(奥側)、グリル庫内をお手入れするときは、十分注意する
やけどや部品の角などだけがする原因になります。
- ・お手入れ後は、機器およびグリル庫内にふきん・紙類などを置き忘れていないか必ず確認する
火災の原因になります。
- ・機器の電源を「切」にする
機器の電源を「切」にせずにお手入れを行った場合、誤って点火/消火ボタン・点火/消火キーを押すと、
やけどの原因になります。

各部品がいたんでいないか確認してください。いんだまま使用されますと、思わぬ事故の原因となります。

いたんでいる場合は、66ページの交換部品を参照し、部品を交換してください。詳しくは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

お手入れ道具・洗剤について

使って よい				
	スポンジたわし	やわらかい布	やわらかい 歯ブラシ	台所用中性洗剤
	ナイロン たわし	亀の子 たわし	金属 たわし	スポンジ たわし裏面
	クレンザー	ミガキ粉	硬い歯 ブラシ	
	酸性洗剤・ アルカリ性洗剤・ 漂白剤		シンナー・ ベンジン・ アルコール	
	歯みがき粉	弱酸性洗剤・ 弱アルカリ性洗剤・ クリームクレンザー	重曹	
	スプレー式洗剤			
	可燃性スプレー・ 浸透液・潤滑剤			

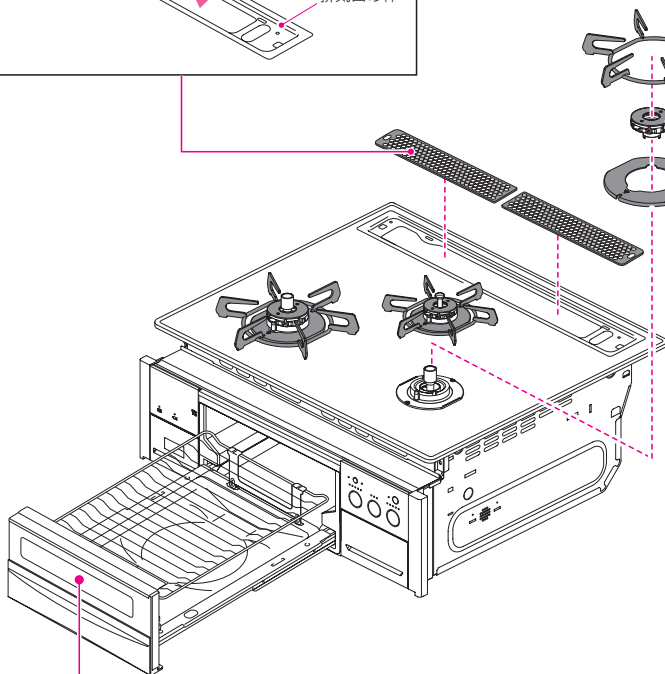
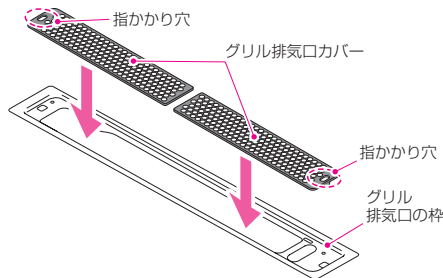
お手入れするときのお願い

- ・ご使用の都度、お手入れしてください。汚れたままにすると汚れがこびり付き、落ちにくくなります。
- ・煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなり、故障の原因になります。
- ・とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついたら掃除が困難になります。
- ・バーナーキャップ・こたく・バーナーリングカバー・グリル排気口カバー・グリル部品(グリルとびら、グリル焼網、グリル受け皿、サイドカバー)は外せます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

お手入れ (部品の取り付けと取り外し) (コンロ部)

グリル排気口カバー

・グリル排気口カバーをグリル排気口の枠に合わせて取り付けてください。



グリル部の取り付けと取り外しは、53～54ページ参照。

◎お手入れは、

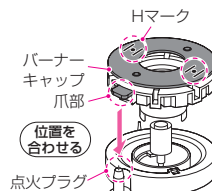
- ・機器が冷えていることを確認する
- ・ガス栓を閉める
- ・機器の電源を「切」にする
- ・手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする

◎部品を取り付けたあとは、傾きがないことを確認する

バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとく

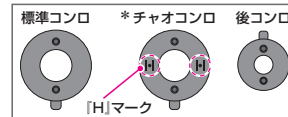
バーナーキャップ



・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。(点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。)

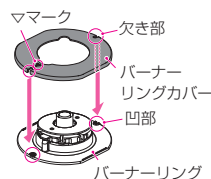
※左右コンロのバーナーキャップは、チャオコンロ用と標準コンロ用がありますので、取り付けに注意してください。
チャオコンロ用のバーナーキャップには、「H」マークを表示しています。

バーナーキャップの形状



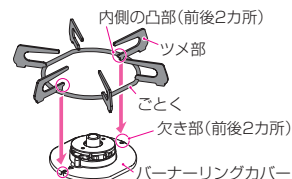
*チャオコンロの「H」マークは、ガス種により1カ所になります。

バーナーリングカバー



・ママークを手前にし、欠き部(前後2カ所)をバーナーリングの凹部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。

ごとく



・ごとく内側の凸部(前後2カ所)を、バーナーリングカバーの欠き部(前後2カ所)に入れて、浮きがないように取り付けてください。

注意



バーナーキャップは正しく取り付ける

必ず守る

- 誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、
- ・点火しない場合があります。
 - ・炎のふそろいや逆火で**不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。**
 - ・機器の中に炎がもぐりこんで、**焼損の原因になります。**
 - ・**機器寿命が短くなるおそれがあります。**



バーナーキャップの浮き



バーナーキャップの裏返し



ごとくとバーナーリングカバーは、正しく取り付ける

必ず守る

誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用する、鍋の転倒によるやけど・**点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。**

また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートに**キズがつくおそれがあります。**



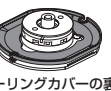
ごとくの浮き



ごとくの裏返し



バーナーリングカバーの浮き

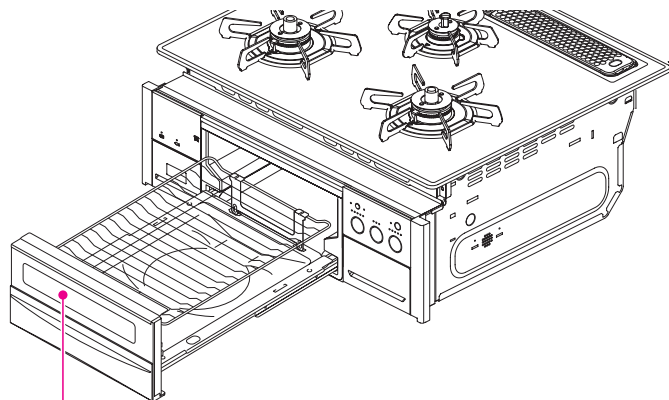


バーナーリングカバーの裏返し

お知らせ

・バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとくは消耗部品です。
バーナーキャップは厚みが薄くなったり、変形すると炎がふそろいになります。また、ごとくは、ツメ部がグラグラしていると、鍋などの転倒の原因になりますので、交換してください。
交換部品(有料)として準備しております。(66ページ)
お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

お手入れ (部品の取り付けと取り外し) (グリル部)



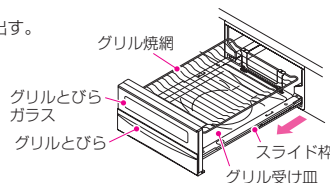
グリル部の取り外しかた

スライド枠は取り外せません

- ・グリルとびらを水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出す。
- ・グリル焼網・グリル受け皿を持ち上げて取り外す。

※グリル使用直後はグリルとびらやグリルとびらガラス、グリル受け皿、グリル焼網、スライド枠が熱くなっていますので注意してください。

※グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。

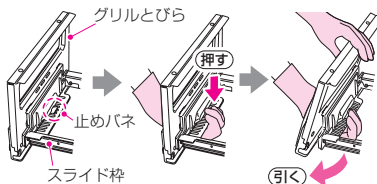


グリルとびら

- ・スライド枠とグリルとびらを固定している止めバネを押下げ、もう片方の手を添えながら、手前に引く。

※グリル焼網をセットした状態では、グリルとびらは正しく取り外すことができません。

※スライド枠は取り外せません。

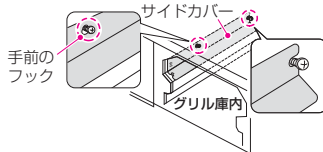


サイドカバー

- ・手前のフックからサイドカバーを取り外す。

※サイドカバーは、(左)(右)があります。

※図は、サイドカバー(左)の場合です。サイドカバー(右)も同様に取り外してください。



◎お手入れは、

- ・機器が冷えていることを確認する
- ・ガス栓を閉める
- ・機器の電源を「切」にする
- ・手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする

- ◎部品を取り付けたあとは、スムーズに開閉できることを確認する

グリル部の取り付けかた

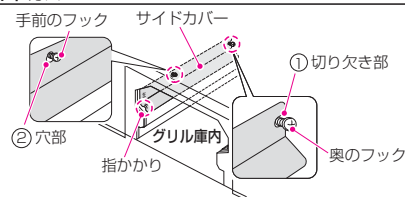
サイドカバー

- ①奥のフックに、切り欠き部を差し込む。

- ②手前のフックに穴部を引っかける。

※サイドカバーは、(左)(右)がありますので、注意してください。
指かかりのある手前側に左または右と表示しています。

※図は、サイドカバー(左)の場合です。サイドカバー(右)も同様に取り付けしてください。

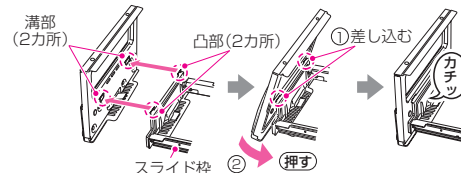


グリルとびら

- ①グリルとびらの溝部(2カ所)に、スライド枠の凸部を差し込む。

- ②とびらの下部を「カチッ」と音がするまで押す。

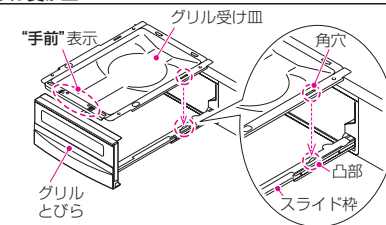
※グリル焼網を取り付けた状態では、グリルとびらは正しく取り付けできません。



グリル受け皿

- ・スライド枠の凸部(左右)にグリル受け皿の角穴が入るように置く。

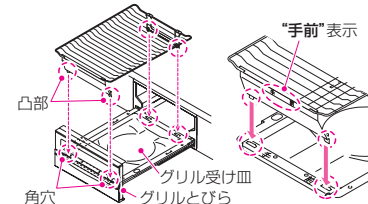
※「手前」と表示している方をグリルとびら側にしてください。



グリル焼網

- ・グリル受け皿の角穴にグリル焼網の凸部(4カ所)を差し込む。

※「手前」と表示している方をグリルとびら側にしてください。



グリルとびらが閉まりにくい場合は、サイドカバー、グリルとびら、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けられていません。そのまま押し込むと、変形の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。

お手入れ

トッププレート

・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。



※表面についた煮こぼれなどの汚れをそのままにしておくと、こびりついて取れにくくなり、シミが残ることがあります。使用のたびにこまめにふき取ってください。とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。

機器表面・操作部

・乾いた布でよくふいてください。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤を含ませた布でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。



※グリルとびら取っ手には、特殊塗装を施していますが、万一表面の塗装がはがれても使用上問題はありません。

バーナー部

バーナーキャップ

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

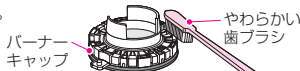
・水洗い後は、よく水気を切ってください。

※水分が残ったまま取り付けると、**点火不良や不完全燃焼になります。**

目づまりしたときは

・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。

※目づまりや汚れは、**不完全燃焼や点火不良の原因になります。**



点火プラグ・立消え安全装置・温度センサー

・水を含ませて、かたくしぼった布で、煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※洗剤などは使用しないでください。

※点火プラグ・立消え安全装置・温度センサーはキズつけたり、衝撃をあてないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。



注意



温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する

鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が**発火する場合があります。**また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、**やけどの原因にもなります。**

密着しない場合、点検・修理を依頼してください。

◎お手入れは、

- ・機器が冷えていることを確認する
- ・ガス栓を閉める
- ・機器の電源を「切」にする
- ・手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする

◎部品を取り付けたあとは、傾きがないことを確認する

ごとく・グリル排気口カバー・バーナーリングカバー

ごとく・グリル排気口カバー

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのとき

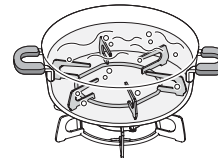
・台所用中性洗剤で丸洗いのあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

煮洗いすると、さらに汚れが落としやすくなります

・水を入れた大きめの鍋に、ごとくやグリル排気口カバーを入れ、約30分加熱し、冷ましてから水洗いして、水気をふき取ってください。

※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。

※取り出すときは、**やけどなどに注意してください。**



バーナーリングカバー

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤で丸洗いのあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

グリル焼網・グリル受け皿・グリルとびら・サイドカバー・スライド枠・グリル庫内

グリル焼網・グリル受け皿・グリルとびら・サイドカバー・スライド枠

・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

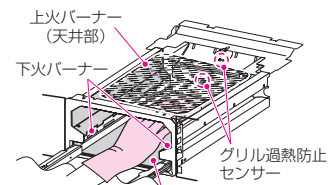
※汚れたまま放置したり、使用したりすると、汚れがとれにくくなり、シミが残ったり、フッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)のはく離の原因になったり、脂汚れで**発火することがあります。**

グリル庫内(側部・底部)

・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジでふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※グリル庫内天井部の燃焼部(上火バーナー)には触らないでください。炎口がつまり燃焼不良、途中消火の原因になります。

また、側部の燃焼部(下火バーナー)の奥には、立消え安全装置と点火プラグ、奥の壁部分にはグリル過熱防止センサーが取り付けられているので触らないでください。位置が変わったり、傾くと安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。



お手入れできる部分(グレー着色部)

よくあるご質問 ①

とくに多いご質問です

ご質問	回答	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> 電源が入らない 点火／消火ボタン(キー)を押しても、点火しない 電池交換サインが点滅している 	<p>乾電池が消耗しているためです。 乾電池を交換してください。 乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。</p>	21
<ul style="list-style-type: none"> 勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする 	<p>安心・安全機能がはたらいているためです。 自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。</p>	20
<ul style="list-style-type: none"> 高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする 	<p>安心・安全機能がはたらいているためです。 温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。 また、約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。</p>	37

全体

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火すると他のバーナーも、スパーク(パチパチ)する	—	1カ所の点火操作ですべてのバーナーがスパークします。異常ではありません。	—
<p>点火しない</p> <p>ご質問の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 点火しない ② 点火しにくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える 	①②	乾電池が消耗しています。 新しいアルカリ乾電池(単1形:2個)に交換してください。	21
	③④	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。 アルミはく製する受けはご使用できません。 使用しないでください。	15・51
	①②	バーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	55
	③	ガス栓を閉めていると点火できません。 ガス栓を全開にしてください。	24・39
	①②	LPガスをご使用の場合、LPガスがなくなりかけているときは、ご使用のLPガス事業者にお問い合わせください。 長期間使用していなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。	—
	①③	電源が入っているか確認してください。 電源を入れないとすべての操作を受け付けません。 ロックされていると点火できません。 ロックを解除してください。	5・24・39
	②	グリルはコンロにくらべて点火に時間がかかります。 異常ではありません。	—
	④	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく(グリルは約3分)待ってから、再度点火してください。	—

全体

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
<p>炎の状態がおかしい</p> <p>ご質問の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 炎が安定しない ② 炎が黄色い、赤い ③ 異常音をたてて燃える、消える ④ 炎が均一でない ⑤ 使用中炎が消える ⑥ 鍋にすずがつく 	①② ③④ ⑤⑥	バーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	55
	①② ③④ ⑤⑥	バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	15・51
	①② ③④ ⑤⑥	風が吹き込んだり、扇風機や冷暖房機器の風があたる場所には設置しないでください。風で火が消える場合があります。	12・15
	②④ ⑤⑥	アルミはく製する受けはご使用できません。 使用しないでください。	10
	②⑤	使用中は換気してください。	12
	②	加温器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。 グリル使用時にコンロを使用すると、焼きものの塩分(ナトリウム)やカルシウムが燃えて、コンロの炎も赤くなります。異常ではありません。 火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。	—
	⑤	弱火の状態、機器下のキャビネットとびらやグリルとびらをよく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	18
すぐに消火しない	—	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。異常ではありません。	—
強火になったとき、一瞬炎が大きくなる	—	バーナー内のガスが一度に出されるためです。異常ではありません。	—
複数のバーナーを連続で操作すると、操作された順番と動作する順番が異なる	—	機器で動作する順番を設定しています。異常ではありません。	—
電源が入りにくい(または入らない)	—	お手入れなどで誤って電源ボタンに触れても電源が入らないようにしています。他のボタンより長く(約0.3秒)押しってください。	5・24・39
<p>部品が変色する</p> <p>ご質問の詳細</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 表面が変色する ② ごとくが変色する ③ トッププレートに光沢や跡が付く 	①②	酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。 中性洗剤以外の洗剤をご使用になると、変色する場合があります。	50
	③	ごく先端は、炎が当たり白くざらざらになります。異常ではありません。 トッププレートのごとく、バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがあります。ご使用上問題ありません。	15

よくあるご質問 ②

ご質問	詳細の 番号	回答	参照 ページ
点火／消火ボタンから手を放してもスパーク(パチパチ)する	—	楽々点火方式で、点火／消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。(最長約5秒) 異常ではありません。	—
焼網が使えない	—	焼きなすやもちほはグリルで調理してください。グリルに入らない大きなすやパプリカなどは、フォークや金串に刺し高温炒めモードを使用し、コンロ上で直火料理(あぶりもの)してください。	37
コンロ使用時の現象	ご質問の詳細		
	① 調理中に消火する	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。	23
	② 油が高温になっていても自動消火しない	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・10
	③ 点火してもすぐ消える	鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	—
	④ 自動で火力が変わる	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで点火しなくてもすぐ消火します。	—
	⑤ 火力を調節しても変わらなかったり、欲しい火力にならない	しばらく待ってから再度点火してください。	—
	⑥ 鍋底がひどく焦げついて消火する	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度が変わります。	20
	⑦ 鍋底が焦げついていないか確認してください。焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	ホーロー製の鍋や、カレー・シチュー・カラメル・みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	—
	⑧ 鍋底が焦げついていないか確認してください。焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	鍋底が焦げついていないか確認してください。焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	—
	⑨ コンロタイマーが終了すると自動的に消火します。再度点火してください。	点火後約120分(高温で自動的に火力調節している場合は約30分)で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	27
コンロ	①	弱火の状態、機器下のキャビネットとびらやグリルとびらをはやく開閉すると、消火場合がありますのでゆっくり開閉してください。	18
	②	冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。	—
	③	無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらき、調理中に消火することがあります。	23
	④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。	20
	⑤	弱火と強火を繰り返す、この状態が約30分続くと自動消火します。	37
	⑥	弱火になると支障のある調理の場合は、高温炒めモードを使用すると、高温での調理ができます。	—
コンロ	⑦	火力微調節状態では、火力の変化が小さい(変化しない)ところがあります。火力が変化する位置まで回してください。	25
	⑧	鍋底にごんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	—





ご質問	詳細の 番号	回答	参照 ページ
揚げものモード使用時の現象	ご質問の詳細		
揚げものモード使用時の現象	① 揚げものがうまくできない	油の量は、500～1000mLが適切です。	23・29
揚げものモード使用時の現象	② 温度設定表示が点滅のまま変わらない	鍋の形状や材質、油の量によっては油の温度が設定温度より高めになったり低めになったりすることがあります。設定温度を加減してお使いください。	6・10
揚げものモード使用時の現象	③ 鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	29・30
揚げものモード使用時の現象	④ 使用中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかり、その間点滅が続きます。	使用中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかり、その間点滅が続きます。	—
湯わかしモード使用時の現象	ご質問の詳細		
	① お湯がぬるい	鍋が湯わかしに適しているか確認してください。	23・31
	② お知らせが遅い	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・10
	③ ふきこぼれる	水の量は、500～2000mLでやかんや鍋の最大容量の6～7割が適切です。	23・31
	④ お湯(70℃以上)から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合があります。ふっとうする前に消火する場合があります。	お湯(70℃以上)から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合があります。ふっとうする前に消火する場合があります。	—
	⑤ 火力を弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になったり、消火したりします。	火力を弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になったり、消火したりします。	32
	⑥ 加熱中に鍋を動かしたり、ふたを開閉したり、水をかき混ぜたりすると、お知らせが遅くなる原因になります。	加熱中に鍋を動かしたり、ふたを開閉したり、水をかき混ぜたりすると、お知らせが遅くなる原因になります。	—
	⑦ 鍋が炊飯に適しているか確認してください。	鍋が炊飯に適しているか確認してください。	23・34
	⑧ 鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・10・34
	⑨ お米の量や水量を正しく計量してください。	よく洗米してください。	33
炊飯モードで上手に炊飯ができない	① 無洗米を使用する場合は、1～2回洗米し、3%ぐらい多めに水をいれて、必ず浸しおきをして炊飯してください。	無洗米を使用する場合は、1～2回洗米し、3%ぐらい多めに水をいれて、必ず浸しおきをして炊飯してください。	34
	② 銘柄や産地、保存期間により炊きあがりのかたさや粘り、食味が変わります。	銘柄や産地、保存期間により炊きあがりのかたさや粘り、食味が変わります。	—
	③ 洗米したあと必ず30分以上(冬場は1時間程度)、水に浸してください。	洗米したあと必ず30分以上(冬場は1時間程度)、水に浸してください。	33
	④ 炊飯途中にふたを開けると、うまく炊けない場合があります。	炊飯途中にふたを開けると、うまく炊けない場合があります。	—
	⑤ 消火したあと、約10分むらしが必要です。むらしをしないと美味しくありません。	消火したあと、約10分むらしが必要です。むらしをしないと美味しくありません。	36
	⑥ むらし後、ごはんをほぐしながら底からかき混ぜると、余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。	むらし後、ごはんをほぐしながら底からかき混ぜると、余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。	—
	⑦ 炊きこみごはんは、白米にくらべ焦げやすくなります。	炊きこみごはんは、白米にくらべ焦げやすくなります。	33
	⑧ もう一度炊飯モードで炊いてください。	もう一度炊飯モードで炊いてください。	—
	⑨ 水分が少ない状態で再度点火した場合は、やわらかくなる場合があります。焦げつきがきつくなったり、芯が残る場合があります。(おかゆの場合は、自動では炊けませんが様子を見ながら弱火で炊いてください。)	水分が少ない状態で再度点火した場合は、やわらかくなる場合があります。焦げつきがきつくなったり、芯が残る場合があります。(おかゆの場合は、自動では炊けませんが様子を見ながら弱火で炊いてください。)	35
	⑩ 炊きこみごはんは、白米にくらべ焦げやすくなります。	炊きこみごはんは、白米にくらべ焦げやすくなります。	—

よくあるご質問 ③

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火／消火キーから手を放してもスパーク(パチパチ)する	—	楽々点火方式で、点火／消火キーから手を放してもスパークが続きます。(最長約7秒) 異常ではありません。	—
グリル使用時の現象 ご質問の詳細 ① 焼けすぎる ② 焼け足りない ③ 焼きムラができる ④ 煙が出る ⑤ オートメニューを受け付けない ⑥ 火力が変わる ⑦ 調理中に消火する	②③④⑦	グリルとびらは確実に閉めてください。	39
	①②③	調理物の数や形状に合わせて、置きかたを調節してください。	40・45・46
	③	調理物に合った火力に調節してください。	—
	②③	グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。	51
	①	みそ漬けややす漬の魚を焼くときは、みそややすは取ってから焼いてください。	40・46
	②	冷凍の魚は、しっかりと解凍し、冷蔵の魚は、常温でしばらく置いてください。	18・40
	④	脂の多い魚などを焼くと煙が多く出るため、グリル排気口以外からも煙が出る場合があります。異常ではありません。	42
	④	初めてグリルを使うときは、煙やにおいが出る場合がありますが、グリル庫内の金属部品に残った加工油によるもので、異常ではありません。	39
	④	グリル庫内やグリル受け皿が汚れていないか確認し、お手入れしてください。	56
	④	残った調理物などが焦げて、煙やにおいが出る場合があります。	56
グリルの点火操作を受け付けない	⑤	連続焼きなどでグリル庫内の温度が高くなりすぎると、オートグリルモードは受け付けません。マニュアルグリルは受け付けますが、過熱防止センサーがはたらき、設定したタイマー時間より短い時間で消火することがあります。グリル庫内が冷めるまで(約3分)待ってから使用してください。	44
	⑥	オートグリルモード使用時は、火力を自動的に切り替えます。異常ではありません。	—
	⑦	グリルタイマーが終了すると自動的に消火します。再度点火してください。	41・43
	⑦	連続の使用などでグリル庫内が高温になっている場合は、グリル庫内が冷めるまで(約3分)待ってから使用してください。	20・42
グリル使用中に、魚などの脂の「パチパチ・ジュージュー」とはねる音がある	—	魚などに含まれている水分が油と接触して、蒸発する音です。異常ではありません。	—

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
ガスのにおいがする いやなにおいがする	—	すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。 風が吹き込んだり、扇風機や冷暖房機器の風があたる場所には設置しないでください。風で火が消える場合があります。 煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。 周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがないか確認してください。	7・8 12・15 55 9
使用中、消火後に音がある ご質問の詳細 ① 「ボン」と音がする ② 「カチッ」と音がする ③ キシミ音がする ④ 「シャー」と音がする ⑤ 点火初期に「ポッポッ」と音がする	①	コンロバーナー使用後の火の消えたときの音です。異常ではありません。	—
	①	バーナーキャップが正しく取り付けられていないと、音がする場合があります。	15・51
使用時に『ピーピーピー』というブザー音とともに、電池交換サインが点滅する	②	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	—
	③	点火後や消火後にキシミ音がですが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。異常ではありません。	—
乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	④	コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。	—
	⑤	機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。異常ではありません。	—
乾電池を交換しても電池交換サインが点滅する	—	乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。乾電池を交換する(電池交換サイン点滅)めやすは約1年です。	21
	—	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。	21

ブザー報知・お知らせ表示

ブザー音	部位	表 示(10回点滅)	内 容	原 因	処置と再使用時の注意	参照ページ
《ピーピーピー》	コンロ	ランプ表示 例  +  コンロタイマー表示部	コンロタイマー終了	タイマー設定時間が終了したとき。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	27
		ランプ表示  コンロタイマー表示部	天ぷら油過熱防止機能の作動 焦げつき自動消火機能の作動	調理油の過熱・焦げつき・消し忘れによる過熱・空焼きなど。		20
		例  + 	点火時に着火しなかった	炎のふき消え・点火しなかった場合など。		
		 立消え安全装置の作動	炎のふき消え・煮こぼれした場合など。			
		 消し忘れ消火機能の作動	点火後、約120分連続使用した場合など。			
		 (表示なし) 高温炒めモード終了	設定後、約60分連続使用した場合など。			
	グリル	ランプ表示  +  グリルタイマー表示部	グリルタイマー終了	タイマー設定時間が終了したとき。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	41
		 + 	グリル過熱防止センサーの作動	グリルの空焼き・消し忘れ・調理物が少ない場合・連続して使用した場合など。	消火してすぐ(グリル過熱防止センサーが高温のままの状態)は、点火してもすぐに消火します。 しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。	20
		 + 	点火時に着火しなかった	炎のふき消え・点火しなかった場合など。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	
		 + 	立消え安全装置の作動	炎のふき消えなど。		
		 グリルタイマー表示部	グリル庫内が高温になっている	調理終了後、連続してオートグリルモードを使用する場合など。	グリル庫内の温度が下がるまで、しばらく(約3分)待ってから、使用してください。	44
	乾電池	電池交換サイン表示 	電池交換のお知らせ	乾電池の消耗。	乾電池を交換してください。	21
	その他		部品の故障	部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し)、ガス栓を閉め、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。	65

上記の処置方法で直らないときは、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)に連絡してください。

仕様・アフターサービス

仕様

品名	ガスビルトインコンロ	
型番	110-H590型	110-H591型
トッププレート仕様	アルミトッププレート(デフロン(フッ素コート))	
前面パネル仕様	樹脂	
型式	C3WJ3PJAL	C3WJ3PJAR
点火方式	連続スパーク点火	
安心・安全機能	・立消え安全装置 ・電源オートパワーオフ機能 (全バーナー) ・ロック機能 ・焦げつき自動消火機能 ・大ぶら油過熱防止機能 ・コンロ消し忘れ消火機能 ・グリル過熱防止センサー ・グリル消し忘れ消火機能 (全コンロバーナー) (グリルバーナー)	
付属品	・取扱説明書(保証書付) ・工事説明書 ・お問い合わせ先一覧表 ・アルカリ乾電池(単1形:2個) ・クッキングブック	
外形寸法	高さ264mm×幅598mm×奥行492mm(トッププレート幅592mm)	
質量	25kg	

使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量kW					ガス 接続口
		個別ガス消費量				全点火時 ガス消費量	
		チャオコンロ	標準コンロ	後コンロ	グリル		
都市 ガス 用	13 A	4.20 (3.610kcal/h)	2.97 (2.550kcal/h)	1.28 (1.100kcal/h)	2.21 (1.900kcal/h)	9.77 (8.400kcal/h)	Rc1/2 (メネジ)
	12 A	3.90 (3.350kcal/h)	2.79 (2.400kcal/h)	1.20 (1.030kcal/h)	2.06 (1.770kcal/h)	9.10 (7.830kcal/h)	
L P ガス 用		4.20 (10.301kg/h)	2.97 (10.213kg/h)	1.28 (10.092kg/h)	2.28 (10.163kg/h)	9.60 (10.688kg/h)	R1/2 (オネジ)

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

・「よくあるご質問」(57ページ)、「プザー報知・お知らせ表示」(63ページ)を見て、もう一度確認してください。
 ・確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。
 なお、連絡されるときは、右記のことをお知らせください。

- 品名 ビルトインコンロ
- 大阪ガス型番
- 機器前面左パネルに貼付のシールを参照してください。
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- ご住所・お名前・電話番号・道順(できるだけ詳しく)



転居される場合

ガスには都市ガス(数種類)およびLPガスの区分があります。

・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店または、転居先のガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。
 この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
 ・この機器は13A(12A)・LPガスでの仕様です。他のガス種には調整・改造できません。

保証書

取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されると、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
 ・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は、有料修理いたします。

補修用性能部品の保有期間

・この製品の補修用性能部品(機能を維持するための必要な部品)の保有期限は、製造打ち切り後6年間です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

交換部品 (お客さまにて取り替え可能な部品)

・下記の部品(有料)は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名 称	形 状	現金標準価格：税込	部品コード
ごとく(大) (左右コンロ用)		¥1,995 (本体価格 ¥1,900)	1110H5710950
ごとく(小) (後コンロ用)		¥1,890 (本体価格 ¥1,800)	1110H5710951
バーナーキャップ(大) (チャオコンロ用)12A・13A用		¥1,575 (本体価格 ¥1,500)	1110H7510955
バーナーキャップ(大) (チャオコンロ用)LP用		¥1,575 (本体価格 ¥1,500)	1110H8100101
バーナーキャップ(大) (標準コンロ用)		¥1,575 (本体価格 ¥1,500)	1110H7010101
バーナーキャップ(小) (後コンロ用)		¥1,050 (本体価格 ¥1,000)	1110H8010151
バーナーリングカバー(大) (左右コンロ用)		¥ 840 (本体価格 ¥ 800)	1110H5710973
バーナーリングカバー(小) (後コンロ用)		¥ 735 (本体価格 ¥ 700)	1110H5710974
グリル排気口カバー		¥ 788 (本体価格 ¥ 750)	1110H5910954
グリル焼網		¥2,940 (本体価格 ¥2,800)	1110H5610959
グリル受け皿		¥3,675 (本体価格 ¥3,500)	1110H7510958
サイドカバー(左)		¥ 630 (本体価格 ¥ 600)	1110H7510961
サイドカバー(右)		¥ 630 (本体価格 ¥ 600)	1110H7510962

2011年10月現在の価格です。価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
 上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

乾電池は電気店などでお買い求めください。

※イラストは参考です。詳しくは「各部のなまえ」(3~4ページ)を参照してください。

別売部品

・お買い上げの販売店または、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。

名 称	形 状	現金標準価格：税込	部品コード・型番
調理プレート(セット)		¥3,990 (本体価格 ¥3,800)	1110H8200970
調理プレート		¥3,465 (本体価格 ¥3,300)	1110H8200968
調理プレートホルダー		¥ 525 (本体価格 ¥ 500)	1110H8200969
調理プレートクッキングブック		¥ 315 (本体価格 ¥ 300)	1110H8200892
炊飯専用鍋(3合)		¥3,990 (本体価格 ¥3,800)	111-H002型
炊飯専用鍋(5合)		¥5,460 (本体価格 ¥5,200)	LP 0135
フード連動用リモコン		¥9,135 (本体価格 ¥8,700)	1110H8200971

2011年10月現在の価格です。価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、もよりの大阪ガス(別紙お問い合わせ先一覧表)にお問い合わせください。